

令和 8 年 8 月

公益社団法人熊本県畜産協会の
経営状況を説明する書類

熊 本 県

目 次

1 令和7年度事業実績

I 地域振興に資する畜産経営体の育成・経営支援及び畜産に関する 情報の提供・普及啓発の推進	1
II 国民生活の安全安心に資する家畜衛生対策の推進	9
III 国民生活の物価安定に資する畜産物価格安定対策の推進	13
IV 畜産経営の安定に資する家畜の改良・登録の推進	19
V 会員や関係団体と連携した畜産振興の推進	22

2 令和7年度決算

・ 貸借対照表	24
・ 正味財産増減計算書	26
・ 財務諸表に対する注記	30
・ 財産目録	34

3 令和8年度事業計画

I 地域振興に資する畜産経営体の育成・経営支援及び畜産に関する 情報の提供・普及啓発の推進	36
II 国民生活の安全安心に資する家畜衛生対策の推進	44
III 国民生活の物価安定に資する畜産物価格安定対策の推進	47
IV 畜産経営の安定に資する家畜の改良・登録の推進	52
V 会員や関係団体と連携した畜産振興の推進	55

4 令和8年度予算

・ 収支予算書	57
-------------------	----

令和7年度事業実績

I 地域振興に資する畜産経営体の育成・経営支援及び畜産に関する情報の提供・普及啓発の推進（公益事業1）

（I）畜産の技術指導に関する事業

1 畜産経営技術高度化推進事業（熊本県受託事業）

（1）事業の実績

畜産経営に対する経営技術指導及び経営管理における的確な対応を効果的かつ効率的に推進することにより、本県の畜産振興に資した。

（2）事業の内容

ア 専門家集団の設置

（ア）構 成 員：熊本県、農業団体等

（イ）畜産経営及び畜産情勢に関する調査研究、畜産経営技術改善方策及び具体的な指導手法等の検討

（ウ）常勤専門家集団：総括畜産コンサルタント等 12人

（エ）非常勤専門家集団：県職員、団体職員、税理士等 10人

イ 地域における相談窓口の設置

（ア）相談窓口配置数：1 か所

（イ）相談等の内容：畜産経営技術指導、畜産コンサルタントの要請等

ウ 畜産経営に対する支援指導の実施

（ア）経営改善等支援：経営診断改善指導、経営管理技術指導、生産技術指導等

（イ）セミナー、研修会等の開催

エ 畜産経営関係情報の提供

（ア）ホームページによる畜産経営関係情報の提供

オ 指導用機器

（ア）畜産経営分析支援システムの活用

2 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会補助事業）

（1）事業の実績

県からの委託で実施する畜産経営技術高度化推進事業、県産畜産物振興の各協議会との連携及び中央団体からの畜産関連施策、地方競馬を主とする馬事振興普及啓発等の事業を推進した。

（2）事業の内容

ア 畜産経営の支援体制強化を図るための事業の推進

イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業の推進

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化

3 畜産特別支援資金融通事業（畜産特別資金等推進指導事業）

（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

畜産特別資金を必要とする経営体を早期に把握するとともに、畜産特別資金借入者の経営改善指導支援のため、県支援協議会の開催、経営改善計画作成指導・計画達成指導等を通じて、借入者及び融資機関に対して必要な指導支援を図った。

(2) 事業の内容

ア 県支援推進協議会の開催

熊本県畜産経営改善安定推進協議会において指導計画、借入農家の計画・実績等について会議の開催（1回）

イ 融資機関への指導・助言

融資機関 9、指導回数 13回

ウ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導

（単位：戸、回）

	計画作成指導	見直し計画指導	達成指導
指導戸数	2	20	6
指導回数	2	13	4

エ 借入者の経営改善のための指導資料作成

経営改善指導の手引き書 55部作成

オ その他推進事務

全国会議 1回、西日本ブロック会議 1回、ヒアリング 2回

カ 借入者の負債残高等進捗状況調査

融資機関 8、調査戸数 51戸（全借入者）

キ 経営改善の定期的な実績点検調査

上期・下期 年2回、点検戸数 23戸

ク 借入者への指導事項

現地指導 1回

4 自給飼料推進事業（畜産協会事業）

(1) 事業の実績

本県の自給飼料増産推進を図り、畜産経営のコスト低減及び安定化に寄与した。

(2) 事業の内容

自給飼料基盤の強化、生産性向上、品質向上、飼料生産の組織化、外部化及び熊本型放牧（広域、周年、水田・畑、耕作放棄地）の普及による草資源の有効利用や農地保全、景観保持を図る取組の支援を行った。

5 家畜防疫・衛生指導対策事業（地域農場 HACCP 認証支援）

（公益社団法人中央畜産会補助事業）

（1）事業の実績

県内の農場 HACCP 認証支援に係るシステム構築の支援、強化・維持及び普及を図った。

（2）事業の内容

ア 地域農場 HACCP 認証構築指導

県内での農場 HACCP 認定に向け、必要書類の作成や検証等のシステム運営についての助言・指導を行い、地域の中核となる農場を育成することで、地域における農場 HACCP 認証の普及を図った。指導農場 5 農場

イ 農場 HACCP 普及推進協議会開催

農場 HACCP 認証農場関係者等を講師とした検討会を開催し、普及活動に資した。

6 地域畜産支援指導等体制強化事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

（1）事業の実績

県内の畜産農家の経営支援のため、研修会の開催や窓口相談活動を実施し、本県の畜産振興に資した。

（2）事業の内容

ア 専門家派遣の実施

イ 研修会への参加

ウ 窓口相談活動の実施

（Ⅱ）畜産の経営支援に関する事業

1 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

（1）事業の実績

肉用牛の生産基盤の安定と強化を図るため、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛や優良な繁殖雌牛の導入支援、繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備、高齢化等に対処する肉用牛ヘルパー組織への支援及び地域の特徴ある肉用牛振興対策等を実施した。

（2）事業の内容

ア 肉用牛生産基盤強化対策

（ア）遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛及び優良な繁殖雌牛の導入を支援した。

導入奨励金は、6 万円／頭、9 万円／頭（稀少性の高い牛）

57 頭（3 集団、30 戸）

(イ) 繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備を支援した。

繁殖雌牛の増頭数に応じた簡易牛舎の整備又は増築、子牛の健康維持に資する器具機材の導入補助

繁殖・育成牛舎 1 棟（1 集団、1 戸）

(ウ) 肉用牛ヘルパーの推進を支援した。

肉用牛ヘルパー利用組合が実施する事業に要する補助

支援組合数 3 組合

イ 地方特定品種等の振興対策

地方特定品種の特徴を活かした生産や放牧利用等を拡大するための取組を支援した。

(ア) あか毛和種の振興

放牧地の利用向上に係る放牧地の整備及び飼料生産・粗飼料多給のための飼料生産等の取組への支援

支援牧野組合数 9

2 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

畜産クラスター事業のうち機械導入事業（リース方式・購入方式）に係る熊本県窓口団体として、関係する事務手続き等を行い、県下各クラスター協議会計画実現と県下地域畜産振興に資した。

(2) 事業の内容

ア 県下各クラスター協議会から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行った。

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催した。

ウ 取組主体の一部について、検収調書を基に現地調査を実施した。

承認機械件数 261 件、承認補助金額 495 百万円

3 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

（ＩＣＴ化等機械装置等導入事業（畜産ＩＣＴ事業））

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

酪農・肉用牛経営の生産基盤の強化に資するため、ＩＣＴ等の新技術を活用した省力化機器の導入を支援するとともに、スマート農業の推進及び労働時間の削減を加速化し、計画的に省力化・生産性向上を図った。

(2) 事業の内容

ア 畜産ＩＣＴ応援会議から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行った。 承認件数 8 件、補助金承認総額 20 百万円

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催した。

ウ 機械装置の利用状況の確認、労働削減効果を高めるための改善指導等を行った。

エ 必要に応じて中央畜産会からの依頼による現地調査、情報収集、取組による成果等の把握を行った。

4 熊本型放牧高度化支援事業（放牧牛導入）（熊本県補助事業）

（1）事業の実績

放牧管理の高度化による負担軽減と放牧牛の増頭を支援することで、阿蘇地域の牧野等の畜産的利用の拡大及び放牧を活用したあか牛等の肉用牛生産基盤の強化を図った。

（2）事業の内容

熊本型放牧拡大のために、農協等の事業主体が放牧実施農家に貸付ける放牧牛（繁殖雌牛）の購入に要する費用の一部を助成した。

放牧牛 100 千円／頭（国 1/2、県 1/2） 28 頭（28 戸）

5 酪農経営支援総合対策事業（酪農労働省力化対策事業（楽酪GO事業））

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

（1）事業の実績

中小・家族経営を中心とした酪農生産基盤の強化を図るため、労働負担軽減に資する機械装置等の導入と一体的な施設の整備への支援を推進した。

（2）事業の内容

酪農を営む者に対し、実情に応じた経営体質強化に資する労働負担軽減のための機械装置等の導入と一体的な施設の整備を行うための事業推進を実施したが本年度要望がなかった。

6 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（優良繁殖雌牛更新加速化事業）

（一般社団法人全国肉用牛振興基金協会受託事業）

（1）事業の実績

肉用牛の生産基盤の強化を図るため、畜産クラスター計画に基づき、取組主体の構成員が高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛への更新を推進した。

（2）事業の内容

3年後の繁殖雌牛の平均月齢を低下させることを目指し、令和7年1月～12月に高齢和牛の繁殖雌牛を出荷し、優良な繁殖雌牛へ更新した農家を対象に、更新実績に応じた奨励金を交付する事業のとりまとめ及び事業推進を行った。

ア 更新実績及び奨励金交付頭数

取組主体数 (団体)	高齢繁殖雌 牛更新頭数 (頭)	交付対 象者数 (戸)	奨励金単価別頭数 (頭)			奨励金の額 (円)
			10 万円/ 頭以内	15 万円/ 頭以内	計	
11	618	228	559	48	607	63, 100, 000

イ 事業推進

事業実施計画に基づき、取組主体が行う事業を円滑に推進した。

7 畜産経営災害等総合対策緊急支援事業（肉用牛経営災害緊急支援対策事業）

（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

(1) 事業の実績

災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼動のための支援を行うことにより、畜産経営体の経営継続を推進した。

(2) 事業の内容

生産者集団等が災害等による停電時における畜産経営体の経営継続のため、家畜の生命維持に要する機械の稼動のため、次に掲げる取組の実施に要する経費を支援した。

ア 経営継続支援対策

(ア) 牛舎、飼養管理の附帯施設及び機械の補改修等（1 戸）

(イ) 簡易牛舎等の整備（対象なし）

(ウ) 緊急避難等支援（1 戸）

(エ) 繁殖に供する雌牛の導入支援（対象なし）

(オ) 電力確保支援（対象なし）

(カ) 飲料水等の確保支援（対象なし）

(キ) 非常用電源の整備（対象なし）

イ 経営継続支援対策の推進

(Ⅲ) 畜産に関する調査研究及び情報提供に関する事業

1 公庫資金活用推進事業（課題解決サポート事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

畜産農家が公庫資金を活用し、安定的な経営展開に資するよう、情報提供を行った。

(2) 事業の内容

公庫資金を借入した畜産経営体の中で、借入時の経営計画の達成が低い経営体について、経営課題、経営改善状況等を調査し、その改善計画の作成支援及びこれに基づく助言等を行う計画であったが、本年度申込がなかった。

2 貸付事業指導等事業（公益財団法人畜産近代化リース協会受託事業）

(1) 事業の実績

畜産近代化リース協会貸付事業において、貸し付けられた機械施設の適正な導入の確認と効率的な活用を図るための指導等を行い、同事業を推進した。

(2) 事業の内容

ア 貸付機械施設の確認及び管理状況についての調査

イ 貸付機械施設の適正な利用についての技術指導

ウ 物件検収基数 68基

3 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

（畜産クラスター全国推進事業（畜産クラスターに係る実態調査））

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

畜産経営体等の経営内容に係る調査を行い、畜産クラスターの中心的な経営体の育成に必要な指標作りを行った。

(2) 事業の内容

本県酪農家、肉用牛繁殖農家及び肥育農家の事例 11 戸の実態調査を行い、中央畜産会に報告した。

4 畜産経営技術指導事業（生産技術情報提供事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

家畜の生産技術指導に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータ収集を行い、その分析結果に基づき助言指導を実施した。

(2) 事業の内容

ア 前年及び当年の家畜生産性に係るデータの収集の実施

イ 成績に関する考察と分析の実施

ウ 分析結果に基づき助言指導の実施

5 畜産物輸出対応生産円滑化事業

（一般社団法人日本畜産物輸出促進協議会受託事業）

(1) 事業の実績

県畜産行政と緊密な連携のもと、輸出先国の規制に沿った飼養衛生管理やアニマルウェルフェアへの対応など、畜産物輸出に対する生産者の理解醸成を図った。

(2) 事業の内容

ア 輸出機関へ輸出啓発資材の配布及びアンケート調査を実施した。

イ 輸出相談窓口を設置した。

6 飼料作物の生産・利用の地域モデル実証事業

(一般社団法人日本草地畜産種子協会受託事業)

(1) 事業の実績

地域のコントラクター等が核となって水田を活用して青刈りトウモロコシ等の生産・利用を行う地域モデルの実証に取り組む経営体（飼料生産者、コントラクター等）の持続性・収益性等に関する調査・分析を行った。

(2) 事業の内容

ア 農研機構と連携し「地域モデル分析等分析報告書」を作成した。

イ 成果報告会の総合討論において、関係者間での意見交換・討論を行い、今後の運営改善及び持続的な事業展開に向けた共通認識の醸成を図った。

7 畜産経営高度化指導推進事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

畜産会組織の重点的な経営指導実践に資するモデル経営設計指標及び経営指導力向上のため、畜産経営指標活用指導資料の作成に必要な経営事例調査を実施した。

(2) 事業の内容

ア 経営属性に関する調査（経営者と経営の概況、管理技術の内容）

イ 経営・生産技術成績等に関する調査

ウ 調査件数

酪農	肉用牛繁殖	肉用牛肥育	養豚	合計
2 戸	5 戸	2 戸	1 戸	10 戸

8 あか牛魅力創造情報提供事業（熊本県受託事業）

(1) 事業の実績

あか牛の特徴をより判りやすく消費者等に訴求するため、Web システムによる情報提供体制の構築を図った。

(2) 事業の内容

ア あか牛の GI 認定作業の推進とあか牛 PR 活動に連動した情報提供体制の構築・連携について検討した。

イ あか牛の魅力向上に資する消費者向けの Web ページを作成した。

Ⅱ 国民生活の安全安心に資する家畜衛生対策の推進（公益事業２）

（Ⅰ）家畜伝染性疾病的予防接種及び予防措置に関する事業

1 家畜生産農場衛生対策事業（国補助事業）

（1）事業の実績

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種、抗体検査及び患畜同居家畜の自主とう汰への補助を実施することにより、家畜伝染病の予防又はまん延防止を図った。

（2）事業の内容

ア ヨーネ病早期清浄化防疫推進事業

ヨーネ病自主とう汰 1頭

イ EBL対策事業

高リスク牛とう汰 0頭

ウ BVD-MD対策事業

PI牛自主とう汰 8頭

エ 牛サルモネラ症対策

サルモネラ検査 285頭

ワクチン接種補助 6,199頭

オ 地域慢性疾病対策事業

豚のPRRS検査 46頭

カ 疾病流行防止支援対策事業

牛異常産ワクチン接種頭数 34,010頭

2 牛疾病検査円滑化推進対策事業（国補助事業）

事業の実績

死亡牛のBSE検査は実施されず、実績はなかった。

3 熊本県自衛防疫強化総合対策事業（特定疾病損耗防止推進事業）

（熊本県補助事業）

（1）事業の実績

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種を実施した。

（2）事業の内容

ア 特定疾病損耗防止推進事業 92,233頭

牛流行性感冒、牛伝染性鼻気管炎、牛アカバネ病の発生予防に寄与した。

4 育成馬等予防接種推進事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防接種を実施した。

(2) 事業の内容 (単位：頭)

区 分	接種頭数	備 考
1 歳馬三種基礎接種	54	2 回接種
1 歳馬三種補強接種	18	
1 歳馬インフルエンザ追加接種	3	
2 歳馬日本脳炎補強接種	0	
合 計	75	

5 馬伝染性疾病防疫推進対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防注射を実施した。

(2) 事業の内容

ア 馬鼻肺炎生ワクチン 86 頭

イ 馬インフルエンザ 1,020 頭

(Ⅱ) 畜産物の生産・衛生の指導及び調査に関する事業

1 熊本県自衛防疫強化総合対策事業（自衛防疫推進事業）（熊本県補助事業）

(1) 事業の実績

市町村及び関係団体と連携し、家畜自衛防疫の強化・推進を図った。

(2) 事業の内容

ア 家畜自衛防疫事業推進会議 2 回

イ 地域推進会議 5 か所（各地区家畜自衛防疫促進協議会）

ウ 事業需要等調査・広報

2 馬飼養衛生管理特別対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

馬の飼養農家や指導者の衛生管理技術の向上のため、関係者に対し講習会や調査を行った。

(2) 事業の内容

ア 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

イ 馬飼養衛生管理技術講習会の開催

ウ 地域馬獣医療実態調査

3 家畜防疫・衛生指導対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の実績

地域の自衛防疫活動強化のため、行政・関係機関と連携し、防疫演習等を実施した。また、各県畜産協会と情報交換を行い、事業の円滑な推進を図った。

(2) 事業の内容

ア 生産者段階における「防疫演習」の実施を支援した。

イ 九州ブロック協議会に参加し、情報交換を行った。

(Ⅲ) 家畜伝染性疾病の予防徹底のための経営支援に関する事業

1 家畜防疫互助基金支援事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の実績

家畜伝染病発生時におけるまん延防止のための家畜の淘汰及びこれに伴う農家の経営再建を支援するため、農畜産業振興機構と農家が拠出した基金を活用した交付金交付に向けた準備を行った。

事業参加養豚農家に対し、国内豚熱発生が散発、生産者積立資金が枯渇するおそれがあったため、積立金追加納付を依頼、回収した。

(2) 事業の内容

ア 家畜防疫互助等推進

(ア) 推進会議の開催

(イ) 生産者等に対する事業の普及・指導・連絡調整

イ 新規加入の推進（事業対象年間 令和6～8年度）

加入状況（令和8年4月末現在）

家畜の種類	飼養戸数	加入戸数	加入率	積立金額(円)
乳用牛	423 戸	426 戸	100%	8,495,415
肉用牛	1,848 戸	1,806 戸	97%	21,162,630
豚	129 戸	78 戸	60%	28,156,236
計	延 2,400 戸	延 2,310 戸	96%	57,814,281

※飼養戸数は県畜産統計（R7.2.1）

(Ⅳ) 畜産経営の環境保全に関する事業

1 畜産環境保全指導事業（畜産協会事業）

(1) 事業の実績

畜産経営や地域の環境保全を目的として、畜産農家や関係者に対して、セミナー等を行った。

(2) 事業の内容

熊本県耕畜連携推進協議会事務局員として、以下に取り組んだ。

ア 堆肥づくりスキルアップセミナー

イ 堆肥コンクール

(Ⅴ) 獣医師等の育成支援に関する事業

1 獣医師養成確保修学資金給付事業（国及び熊本県補助事業）

(1) 事業の実績

家畜伝染病の予防・まん延防止や食品衛生を担う産業動物獣医師や行政獣医師の育成を目的として、獣医学を専攻する学生に修学資金を給付した。

(2) 事業の内容

ア 産業動物獣医師及び県家畜保健衛生所等獣医師の養成

10 名（継続 9 名 新規 1 名）

イ 県公衆衛生獣医師の養成

6 名（継続 5 名 新規 1 名）

Ⅲ 国民生活の物価安定に資する畜産物価格安定対策の推進（公益事業３）

（Ⅰ）肉用子牛の価格差補てんに関する事業

１ 肉用子牛生産者補給金制度（業務対象年間 令和７～１１年度）

（独立行政法人農畜産業振興機構及び熊本県補助事業）

（１）事業の実績

肉用子牛の価格が低迷し、保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図った。

（２）生産者補給金交付契約締結状況（令和８年３月３１日時点）

（単位：人）

経営分類	契約者区分							
	個人	農協	農協連	農事組合法人	合名合資	株式会社	有限会社	総計
繁殖	1,438	1	0	5	0	32	10	1,486
酪農	47	0	0	0	0	4	13	64
一貫	83	0	0	0	1	30	4	118
哺育	10	0	0	0	0	2	0	12
計	1,578	1	0	5	1	68	27	1,680

（３）事務委託先

16 団体（内訳：農協連合会 ２・総合農協 ６・専門農協 ７・その他 １）

（４）契約肉用子牛個体登録頭数の内訳（令和７年）

（単位：頭）

品種区分	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月	7 年合計	前年実績	前年対比（％）
黒毛和種	6,882	6,515	6,342	6,002	25,741	27,426	94％
褐毛和種	1,136	960	1,096	1,021	4,213	4,120	102％
その他の肉専用種	0	0	1	0	1	1	—
乳用種	231	165	155	122	673	691	97％
乳交雑種	2,178	1,884	1,558	970	6,590	7,487	88％
計	10,427	9,524	9,152	8,115	37,218	39,725	94％

(5) 生産者積立金単価及び負担額（令和 7 年度）

（単位：円）

品種区分	生産者負担金	生産者積立助成金		生産者 積立金合計
	生産者（１／４）	機構（１／２）	県（１／４）	
黒毛和種	400	800	400	1,600
褐毛和種	1,500	3,000	1,500	6,000
その他の肉専用種	5,000	10,000	5,000	20,000
乳用種	1,250	2,500	1,250	5,000
乳交雑種	600	1,200	600	2,400

(6) 保証基準価格及び合理化目標価格（令和 7 年度）

（単位：円）

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	乳交雑種
保証基準価格	574,000	523,000	334,000	164,000	274,000
合理化目標価格	446,000	406,000	259,000	110,000	216,000

(7) 平均売買価格（令和 7 年）

（単位：円）

品種区分	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月	令和 8 年 1-3 月
黒毛和種	589,700	650,900	647,800	715,500	804,000
褐毛和種	670,700	621,100	610,600	652,900	709,800
その他の肉専用種	278,100	注 386,500			
乳用種	205,200	254,700	220,600	218,000	241,300
乳交雑種	389,400	382,500	392,800	448,500	468,900

注：「その他肉専用種」の算定期間が令和 2 年度から年度（４月～３月）に変更

(8) 生産者補給金交付状況（令和 7 年）

（単位：頭、円）

品種区分	1-3 月	4-6 月	7-9 月	10-12 月	合計
黒 毛 和 種	—	—	—	—	—
褐 毛 和 種	—	—	—	—	—
その他の肉専用種	(49,900) 1 49,900	注			1 49,900
乳 用 種	—	—	—	—	—
乳 交 雑 種	—	—	—	—	—
計	1 49,900	—	—	—	1 49,900

※（ ）内は交付金単価、中段(計の欄の上段)は交付頭数、下段は交付金額

注：「その他肉専用種」の算定期間が令和 2 年度から年度（４月～３月）に変更されたため、表中では翌年 1-3 月期に表記する。

(9)生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況（令和7年）

（単位：円）

保証基準価格の品種区分			黒毛和種	褐毛和種	その他肉専	乳用種	乳用交雑種	合 計	
区 分									
(1) 期 首 残 高	①生産者積立金		0	0	0	0	0	0	
	②生産者積立準備金		690,134,669					690,134,669	
	内 訳	③生産者の負担金充当分	315,957,999					315,957,999	
		④都道府県の生産者積立助成金充当分	124,725,556					124,725,556	
		⑤機構の生産者積立助成金充当分	249,451,114					249,451,114	
(2) 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	⑥生産者積立金純増加額（⑨+⑫+⑮+⑱）		34,779,606	20,220,221	20,000	3,672,300	16,302,823	74,994,950	
	⑦生産者積立準備金からの繰入額（⑩+⑬+⑯）		6,405,994	5,057,779	0	108,500	1,255,577	12,827,850	
	⑧ 計		41,185,600	25,278,000	20,000	3,780,800	17,558,400	87,822,800	
	内 訳	生産者	⑨負担金	3,890,406	1,261,721	5,000	836,700	3,134,023	9,127,850
			⑩生産者積立準備金（③からの繰入金）	6,405,994	5,057,779	0	108,500	1,255,577	12,827,850
			⑪小計	10,296,400	6,319,500	5,000	945,200	4,389,600	21,955,700
		都道府県	⑫生産者積立助成金	10,296,400	6,319,500	5,000	945,200	4,389,600	21,955,700
			⑬生産者積立準備金（④からの繰入金）	0	0	0	0	0	0
			⑭小計	10,296,400	6,319,500	5,000	945,200	4,389,600	21,955,700
		機 構	⑮生産者積立助成金	20,592,800	12,639,000	10,000	1,890,400	8,779,200	43,911,400
			⑯生産者積立準備金（⑤からの繰入金）	0	0	0	0	0	0
			⑰小計	20,592,800	12,639,000	10,000	1,890,400	8,779,200	43,911,400
		その他	⑱生産者積立金とすることを指定して 寄付又は補助された財産	0	0	0	0	0	0
(3) 他 の 資 金 か ら の 繰 入 状 況 等	⑲特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額		0	0	0	0	0	0	
	⑳調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額		0	0	0	0	0	0	
	㉑生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額		0	0	0	0	0	0	
	㉒生産者積立金に係る運用果実		0	0	0	1,830	0	1,830	
	㉓他資金から生産者積立金への繰入額		0	0	0	0	0	0	
	㉔生産者補給交付額（㉑を含む）		0	0	0	0	0	0	
	㉕生産者積立金からの借入金返済額		0	0	0	0	0	0	
	㉖他の資金からの繰入れによる借入金返済額		0	0	0	0	0	0	
	㉗生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額		0	0	0	0	0	0	
	㉘生産者積立準備金に係る運用果実		790,598					790,598	
	㉙生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額		0					0	
	㉚生産者積立準備金からの返還額（生産者分）		61,258,370					61,258,370	
	㉛生産者積立準備金からの返還額（都道府県分）		124,889,717					124,889,717	
	㉜生産者積立準備金からの返還額（機構分）		249,652,232					249,652,232	
(4) 期 末 残 高	㉝生産者積立金（①+⑧+⑲+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗）		41,185,600	25,278,000	20,000	3,782,630	17,558,400	87,824,630	
	㉞生産者積立準備金（②+⑦+㉑+㉒+㉓+㉔+㉕+㉖+㉗）		242,297,098					242,297,098	
	内 訳	㉟生産者の負担金充当分	242,297,098					242,297,098	
		㊱都道府県の生産者積立助成金充当分	0					0	
		㊲機構の生産者積立助成金充当分	0					0	

2 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の実績

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適切かつ円滑な実施体制の確保及び肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の高度化を図った。

(2) 事業の内容

ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度運営適正化のために次の項目の充実を図った。

- (ア) 肉用子牛の個体識別と個体登録
- (イ) 肉用子牛の販売、保留及び異動確認
- (ウ) 家畜市場データの収集、整理、送信、集計、分析
- (エ) 電算処理システムの整備
- (オ) 業務推進会議の開催
- (カ) 現地調査指導など

イ 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な推進を図り、肉用子牛生産の安定並びに肉用牛経営の安定的発展に資した。

ウ 肉用子牛の取引状況の調査報告

指定肉用子牛の取引結果を算出するため、県内指定市場を対象に出荷子牛の日齢・体重・取引価格等について調査し、その結果を農畜産業振興機構に報告した。

また、電算処理による分析に基づき「熊本県の肉用子牛市場調査」として取りまとめ、関係機関、団体等に配布した。

※本県の指定家畜市場 2か所（熊本県家畜市場、球磨家畜市場）

3 優良和子牛生産推進緊急支援事業

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の実績

肉用子牛の価格が大幅に下落し、生産者の経営環境が悪化しており、生産者の意欲低下により肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されるため、飼養管理の向上に取り組む和子牛生産者を緊急的に支援した。

(2) 事業の内容

市場等で取引される和子牛のブロック別平均価格が、発動基準を下回った場合に、飼養管理向上のための取組メニューを行う生産者が販売した和子牛に対して、奨励金交付を予定していたが、発動基準を下回らなかったため交付はなかった。

ア 発動基準

発動基準 (税込)	黒毛和種	61 万円	59 万円	58 万円
	褐毛和種	56 万円	54 万円	53 万円
	その他の肉専用種	36 万円	34 万円	—
必要取組数		2	3	4
奨励金単価		1 万円/頭	2 万円/頭	3 万円/頭

イ 飼養管理向上のための取組メニュー

母子共通メニュー	子牛メニュー	母牛メニュー
・飼料効率の改善 ・添加物による栄養補助 ・駆虫・防虫対策 ・寒冷・暑熱対策 ・牛体管理の徹底	・疾病防止のワクチン接種 ・疾病の早期治療 ・栄養状態を強化する人工哺乳	・疾病防止のワクチン接種 ・発情発見機等の活用 ・高度な栄養管理

※1 黒毛和種は、北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の4ブロックとし、全国平均に対して著しく高い価格となっている都道府県については、ブロック別平均価格の計算から除外し、単独で平均価格を計算

※2 褐毛和種及びその他の肉専用種は全国1ブロック

4 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の実績

枝肉価格の低下や飼料価格の高止まり等により、子牛価格が低下し、繁殖農家の生産基盤が危機的状況にあることから、和子牛産地の基盤強化につながる取組を支援することにより、意欲ある生産者の経営の継続・発展に資する環境整備を行った。

(2) 事業の内容

肉用子牛の品種区分毎のブロック別平均価格が、発動基準（下表）を下回った場合に、「和子牛産地基盤強化計画」を作成した地域において、産地基盤強化に資する取組メニュー（下表）のうち1つ以上行う生産者に対して、販売・自家保留頭数に応じた奨励金1万円/頭（離島等は5万円/頭）の交付を予定していたが、発動基準を下回らなかったため奨励金交付はなかった。

品種区分	発動基準	取組メニュー
黒毛和種	61 万円未満	① 地域内自給飼料の生産・利用
褐毛和種	56 万円未満	② 早期出荷に向けた地域内一貫生産
その他の肉専用種	36 万円未満	③ 需給に応じた生産

- ※1 黒毛和種は、北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の4ブロックとし、全国平均に対して著しく高い価格となっている都道府県については、ブロック別平均価格の算定から除外し、単独で平均価格を計算
- ※2 褐毛和種及びその他の肉専用種は全国1ブロック
- ※3 「離島等」は、離島振興法第2条第1項の規定により指定された離島振興対策実施地域、沖縄県、鹿児島県奄美市及び同県大島郡

(Ⅱ) 肉用牛肥育経営の所得補てんに関する事業

1 肉用牛肥育経営安定交付金制度（事業対象期間：令和7年度～令和9年度）

（独立行政法人農畜産業振興機構受託事業）

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務

ア 事業の実績

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務の円滑な実施を図るため、機構から事務を受託し、制度の普及及び交付に係る申請事務等の業務を実施した。

イ 令和7年度の実績

(ア) 契約者数 263戸

(イ) 個体登録頭数

（単位：頭）

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	22,597	8,979	450	32,026

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

ア 事業の実績

交付契約を締結した生産者に対して、肥育牛補填金の交付に要する資金として、肥育安定基金を造成し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、差額の9割を機構の交付金と併せて補填金を交付した。

イ 令和7年度の契約肥育牛1頭当たりの生産者負担金の単価（熊本県）

肉専用種	交雑種	乳用種
11,000 円	17,000 円	18,000 円

IV 畜産経営の安定に資する家畜の改良・登録の推進（その他事業1）

（I）登録事業

登録・登録は、家畜の改良増殖の基礎であり、関係機関の協力を得て、その必要性を周知徹底し推進に努めた。また、体型・肉質の優れた系統の選抜並びに増頭に取り組むとともに、下記のとおり登録・登録を行った。

黒毛和種

（単位：人、頭）

登録・登録の種類	令和6年度	令和7年度	対前年比（％）
会 員	1,457	1,316	90.3
高等登録	33	36	109.1
本原登録	724	799	110.4
基本登録	2,165	2059	95.1
子牛登記	25,077	24,449	97.5

褐毛和種

（単位：人、頭）

登録・登録の種類	令和6年度	令和7年度	対前年比（％）
会 員	627	649	103.5
育種高等登録	23	38	165.2
産肉登録	13	6	46.2
繁殖登録	819	863	105.4
子牛登記	4,740	4,917	103.7

種 豚

（単位：頭）

登録・登録の種類	令和6年度	令和7年度	対前年比（％）
種 豚 登 録	534	522	97.8
子 豚 登 記	810	827	102.1
交 雑 証 明	10	10	100

重 種 馬

（単位：頭）

登録・登録の種類	令和6年度	令和7年度	対前年比（％）
繁 殖 登 録	39	46	117.9
血 統 登 記	145	147	101.4

※黒毛和種は、公益社団法人全国和牛登録協会熊本県支部

褐毛和種は、日本あか牛登録協会熊本県支部の事業として実施

(Ⅱ) 改良事業

1 改良推進事業

国・県並びに県連等が推進する改良増殖諸事業に積極的に参画し、本県家畜の改良増殖の促進に努めた。

2 養豚振興事業

登録事業を推進し、種豚の能力向上や維持確保に努めた。

3 重種馬振興事業

重種馬の生産率向上を図るため種雄馬管理指導を行うとともに、人工授精利用等繁殖技術の向上に努めた。

4 集団活動への支援

各地域における改良組合、グループ活動に対して支援を行った。

5 共進会、品評会

県内で開催される各種共進会、品評会の上位入賞家畜を表彰し、会員の改良意欲の高揚に努めた。

6 第13回全国和牛能力共進会への対応

令和9年に北海道で開催される第13回全国和牛能力共進会に向けて、関係機関と連携して取組みを進めた。

7 一般社団法人日本あか牛登録協会（熊本県支部を含む）に係る事業協力

(1) 畜産生産力・生産体制強化対策事業

- ① 家畜能力等向上強化推進のうち多様な改良情報の収集・分析（肉用牛改良情報活用協議会分担事業）

ア 事業の実績

枝肉情報の提供・利用に同意した肥育農家から出荷された格付情報に対応する登記情報の内容をチェックし、精度の高い情報として収集するとともに、関係機関等に提供した。

血統情報を収集分析するための会議の開催、種雄牛案内の冊子を配布した。

イ 事業の内容

熊本系褐毛和種血統情報の収集に相当する業務及びそれに付帯する業務を行った。

② 家畜能力等向上強化推進のうち地域固有系統の再構築等支援対策（一般社団法人日本あか牛登録協会事業）

ア 事業の実績

新規繁殖登録牛からDNA試料の採取とSNP情報の解析を行うことで、あか牛雌集団の遺伝的構造解析を行い、集団の遺伝的多様性の維持及び近交係数上昇抑制の手法の検討に努めた。

イ 事業の内容

あか牛の改良用雌牛群、新規繁殖登録牛及び種雄牛候補となる雄子牛等のDNA試料の採取とSNP情報の解析を行い、得られたデータを基にあか牛集団の遺伝的構造分析を実施し、当該構造分析結果に基づく集団内の系統分類手法の確立を進めた。

（２）持続的な褐毛和種の生産・改良システム開発事業

（国立大学法人宮崎大学受託事業）

ア 事業の実績

褐毛和種について、肥育牛からDNA試料の採取と血統・繁殖情報の提供を行い、関係団体と協議し、ゲノミック評価の検証に努めた。

イ 事業の内容

熊本系褐毛和種の繁殖雌牛及び肥育牛のSNP情報収集、改良形質情報の収集システム構築事業、成果の普及を進めた。

V 会員や関係団体と連携した畜産振興の推進（その他事業2）

各種協議会の事務局並びにイベントへの職員派遣や、行政と団体間との調整役を果たすこと等により、県畜産の生産振興や県産畜産物のPRと消費拡大に寄与する。

1 熊本県産牛肉消費拡大推進協議会事業

（熊本県産牛肉消費拡大推進協議会受託事業）

熊本県産牛肉消費拡大推進協議会の事務局事務を実施した。

実績：県内畜産関係団体の相互協調により、熊本県産牛肉の流通・消費拡大を図り、熊本県畜産の安定的発展に寄与した。

会員：熊本県、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県畜産農業協同組合、熊本県酪農業協同組合連合会、熊本県食肉事業協同組合連合会、肥後開拓農業協同組合、熊本畜産流通センター、熊本県農業協同組合中央会、(公社)熊本県畜産協会

2 熊本県養豚協会事業（熊本県養豚協会受託事業）

熊本県養豚協会の事務局事務を行った。

実績：本県における養豚事業の着実な発展と養豚振興を図るため、養豚経営に関する調査研究や講習会を実施するとともに、養豚に関する情報の収集及び提供を行った。

会員：県内養豚農家 59 会員 賛助会員：養豚関係団体等 55 会員

3 熊本県枝肉共進会実行委員会事業（熊本県枝肉共進会受託事業）

実績：熊本県における家畜の資質向上及び肉質改善を推進し、生産者の意欲向上と畜産経営の安定を図るとともに、安心・安全な畜産物の供給と消費拡大に資することを目的として開催される熊本県枝肉共進会の事務局事務を担当した。

会員：熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県畜産農業協同組合、(公社)熊本県畜産協会、熊本県畜産課（オブザーバー）

4 馬事畜産振興推進事業(馬事畜産振興協議会受託事業)

馬事畜産振興協議会からの委託により、関係団体等と連携し、地方競馬の支援、畜産や県産畜産物の普及・啓発を推進した。

実績

- ・佐賀競馬場において、冠レースを実施し賞状・副賞を授与した。
- ・BA00 荒尾において、畜産フェアを開催し入場者増加と畜産振興に資した。
- ・家畜に係わる伝統行事を実施する団体に対し、当該行事の保存及び活性化に向けた支援を行った。
- ・競馬現地研修を開催した。
- ・九州の畜産協会と連携して地方競馬ミルクウィークを開催し、牛乳・乳製品の消費拡大を図った。

5 熊本県養鶏協会事業（熊本県養鶏協会受託事業）

熊本県養鶏協会の事務局事務を行った。

実績：本県における養鶏事業の堅実な発展を促進し、養鶏振興を図るため、日本養鶏協会事業の推進、養鶏農家の技術向上及び疾病の発生防止に係る研修会の実施、鶏卵の普及・啓発活動を行った。

会員：県内養鶏農家 32 会員

6 地域畜産フェア拡大推進事業（馬事畜産振興協議会補助事業）

県内の生産者と消費者の交流の場として地域畜産フェア等のイベントに参加し、県内の消費者に対して地域畜産物の理解を深めるとともに、消費者に対して地方競馬の畜産振興等への貢献について周知を図った。

実績：くまもと農業フェアにて、県内の畜産物（卵・加工食品）と競馬・畜産の普及啓発グッズを配布するとともに、アンケートを実施し、回答者を対象に抽選で県産畜産物を贈呈した。これらの取組により、県産畜産物の普及啓発と消費拡大を図った。

令和7年度決算

貸借対照表

令和 08年03月31日 現在

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金			
普 通 預 金	135,011,506	107,680,649	27,330,857
定 期 預 金	2,000,000	2,000,000	
雑 資 産			
未 収 金	123,253,836	129,665,008	△ 6,411,172
前 払 金		8,937	△ 8,937
立 替 金	136,950	175,450	△ 38,500
流 動 資 産 合 計	260,402,292	239,530,044	20,872,248
2. 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
基 本 財 産 合 計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
退職給付引当資産	52,940,645	45,188,142	7,752,503
減価償却引当資産	9,159,297	12,960,077	△ 3,800,780
ソフトウェア更新資産	5,458,500	7,576,000	△ 2,117,500
生産者積立資産	87,824,630		87,824,630
生産者積立準備資産	242,297,098	690,134,669	△ 447,837,571
特別の積立資産	1,141,000,047	1,140,250,618	749,429
償還円滑化積立資産	44,308,240	44,186,728	121,512
家畜防疫事業運営特別資産	8,927,152	8,906,544	20,608
肥育牛交付制度基金資産	529,181,048	757,392,785	△ 228,211,737
預かり寄託金資産	388,710,000	388,710,000	
特 定 資 産 合 計	2,509,806,657	3,095,305,563	△ 585,498,906
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	9,624,497	8,948,393	676,104
ソフトウェア	3,316,958	2,740,278	576,680
長 期 預 け 金	9,200,000	9,200,000	
中央畜産会預け金	900,000	900,000	
長 期 未 収 金	21,361,359	21,961,359	△ 600,000
貸倒引当金 (△)	21,361,359	21,361,359	
什器備品減価償却累計額 (△)	5,235,982	7,151,507	△ 1,915,525
その他固定資産合計	17,805,473	15,237,164	2,568,309
固 定 資 産 合 計	2,527,612,130	3,110,542,727	△ 582,930,597
資 産 合 計	2,788,014,422	3,350,072,771	△ 562,058,349
II 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
雑 負 債			
未 払 金	96,364,045	77,312,870	19,051,175
預 り 金	4,138,503	1,970,895	2,167,608
仮 受 金	12,740,667	15,821,062	△ 3,080,395
賞 与 引 当 金	14,046,782	13,512,150	534,632
未 払 消 費 税	4,360,000	4,061,300	298,700
流 動 負 債 合 計	131,649,997	112,678,277	18,971,720
2. 固 定 負 債			
基 金			
生産者積立金			
準 備 積 立 金			
退職給付引当金	52,940,645	45,188,142	7,752,503
預かり寄託金	388,710,000	388,710,000	
熊本県	160,000,000	160,000,000	
市町村	22,940,000	22,940,000	
農協及び関係団体	205,770,000	205,770,000	
固 定 負 債 合 計	441,650,645	433,898,142	7,752,503
負 債 合 計	573,300,642	546,576,419	26,724,223

貸借対照表

令和 08年03月31日 現在

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
Ⅲ 正 味 財 産 の 部			
1. 指 定 正 味 財 産			
指 定 正 味 財 産 合 計	2,044,611,061	2,631,964,800	△ 587,353,739
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(2,044,611,063)	(2,631,964,800)	(△ 587,353,737)
2. 一 般 正 味 財 産	170,102,719	171,531,552	△ 1,428,833
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(23,544,949)	(29,442,621)	(△ 5,897,672)
正 味 財 産 合 計	2,214,713,780	2,803,496,352	△ 588,782,572
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	2,788,014,422	3,350,072,771	△ 562,058,349

正味財産増減計算書

令和 07年04月01日から 令和 08年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位: 円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益(計)	643,283	337,727	305,556
特定資産受取利息	140,446	13,137	127,309
預かり寄託金運用利息	502,837	324,590	178,247
受取会費(計)	10,660,000	10,600,000	60,000
正会員受取会費	10,660,000	10,600,000	60,000
受取負担金(計)	3,000,000	3,000,000	
受取財政基盤強化負担金	3,000,000	3,000,000	
事業収益(計)	223,603,942	233,209,271	△ 9,605,329
受取生産者補給金事務負担金	11,165,400	11,917,500	△ 752,100
受取予防接種負担金	194,088,780	201,339,940	△ 7,251,160
受取種豚事業収益	1,465,882	1,333,640	132,242
受取改良事業収益・証明料	613,530	487,340	126,190
受取肉用牛肥育経営安定事務負担	6,164,773	13,088,089	△ 6,923,316
受取農用馬事業収益	59,350	56,250	3,100
受取事務負担金	10,046,227	4,986,512	5,059,715
受取補助金(計)	243,841,289	2,478,079,120	△ 2,234,237,831
国受取補助金(計)	32,391,898	34,710,003	△ 2,318,105
受取家畜生産農場衛生対策事業	21,509,643	20,333,312	1,176,331
受取牛疾病検査円滑化推進対策事業	515,533	2,153,473	△ 1,637,940
受取獣医師養成修学資金貸与(国)	10,366,722	12,223,218	△ 1,856,496
機構受取補助金(計)	142,346,847	2,334,710,105	△ 2,192,363,258
受取機構生産者補給交付金	49,900	850,016,100	△ 849,966,200
受取補給金運営適正事業補助金	23,015,198	25,386,289	△ 2,371,091
受取運営体制支援事業補助金	17,013,450	17,004,871	8,579
受取肉用牛経営安定対策補完事業	20,180,906	21,056,878	△ 875,972
受取和子牛生産者臨時経営支援		187,425,102	△ 187,425,102
受取機構肥育牛交付制度交付金	30,660,188	816,533,008	△ 785,872,820
受取肉用牛経営災害緊急支援対策	124,784		124,784
受取優良和子牛生産推進緊急支援	2,351,569	417,287,857	△ 414,936,288
受取繰越優良和子牛生産緊急支援	46,650,468		46,650,468
受取和子牛産地基盤強化緊急対策	2,300,384		2,300,384
熊本県補助事業(計)	26,924,919	64,172,193	△ 37,247,274
受取自衛防疫推進費	822,783	544,000	278,783
受取特定疾病損耗防止推進事業	3,320,388	3,600,000	△ 279,612
受取獣医師養成就学資金貸与(県)	19,791,200	21,660,000	△ 1,868,800
受取熊本型放牧支援事業補助金	2,990,548	4,500,000	△ 1,509,452
受取優良繁殖牛群(導入支援)		17,092,193	△ 17,092,193
受取優良繁殖牛群(ゲノム)		16,776,000	△ 16,776,000
中央畜産会(計)	13,376,165	11,048,547	2,327,618
受取畜産特別資金推進指導事業	4,656,866	4,144,791	512,075
受取育成馬予防接種推進事業費	341,771	401,796	△ 60,025
受取馬飼養衛生管理特別対策事業	753,952	639,445	114,507
受取馬伝染性疾病防疫対策事業	3,346,201	1,805,892	1,540,309
受取家畜防疫・衛生指導対策事業	1,386,575	1,483,541	△ 96,966
受取地域農場HACCP認証支援事業	2,890,800	2,573,082	317,718
地方競馬全国協会(計)	26,369,000	33,074,272	△ 6,705,272
受取畜産経営技術指導事業	26,369,000	25,988,000	381,000
受取重種馬等生産体制強化事業		7,086,272	△ 7,086,272
日本馬事協会(計)	432,460	364,000	68,460
受取日本馬事協会	432,460	364,000	68,460
馬事畜産振興協議会(計)	2,000,000		2,000,000
受取地域畜産フェア拡大推進事業	2,000,000		2,000,000
受託事業収益(計)	108,279,033	86,813,121	21,465,912
機構受託事業(計)	16,451,652	16,227,168	224,484
受取肉用牛肥育経営安交付金制度	16,451,652	16,227,168	224,484
全国肉用牛振興基金協会受託事業(計)	4,391,837	4,266,818	125,019
受取優良雌牛更新加速化事業委託	4,391,837	4,266,818	125,019

正味財産増減計算書

令和 07年04月01日から 令和 08年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
熊本県受託事業（計）	7,232,000	6,080,000	1,152,000
受取畜産経営技術高度化推進事業	5,490,000	6,080,000	△ 590,000
受取あか牛魅力創造情報提供事業	1,742,000		1,742,000
中央畜産会（計）	23,167,341	20,259,655	2,907,686
受取楽酪GO事業	412,938	358,588	54,350
受取地域畜産支援強化事業	2,500,000	2,500,000	
受取畜産クラス-実態調査事業	880,000	720,000	160,000
受取畜産クラス-機械導入事業	9,346,171	8,494,470	851,701
受取生産技術情報提供事業	2,082,000	1,726,000	356,000
受取畜産ICT事業	1,314,279	772,331	541,948
受取家畜防疫互助推進事業	5,251,925	5,688,266	△ 436,341
受取畜産経営高度化事業（中畜）	1,380,028		1,380,028
日本草地畜産種子協会受託事業（計）	4,000,000		4,000,000
受取飼料作物地域モデル実証事業	4,000,000		4,000,000
日本あか牛登録協会（計）	5,493,774	1,757,598	3,736,176
受取日本あか牛登録事務委託費	5,493,774	1,757,598	3,736,176
日本あか牛登録協会熊本県支部（計）	8,115,814	7,645,176	470,638
受取日本あか牛登録県支事委託費	8,115,814	7,645,176	470,638
全国和牛登録協会熊本県支部（計）	36,050,599	27,355,765	8,694,834
受取全国和牛登録県支部委託費	36,050,599	27,355,765	8,694,834
馬事畜産振興協議会（計）	527,016	480,000	47,016
受取馬事畜産振興推進事業	527,016	480,000	47,016
畜産近代化リース協会（計）	1,849,000	1,799,454	49,546
受取貸付事業指導等事業	1,849,000	1,799,454	49,546
（一社）日本畜産物輸出促進協会（計）	1,000,000	941,487	58,513
受取輸出対応生産円滑化事業	1,000,000	941,487	58,513
その他事業収入（計）	4,394,254	2,701,555	1,692,699
受取県産牛肉消費拡大推進協議会	722,000	722,000	
受取熊本県養豚協会事務費	1,418,184	1,365,625	52,559
受取熊本県枝肉共進会実行委員会	655,270	613,930	41,340
受取熊本県養鶏協会事務費	1,598,800		1,598,800
受取積立金（計）	10,220,222	272,178,604	△ 261,958,382
受取積立金振替額	10,220,222	272,178,604	△ 261,958,382
受取生産者積立金振替額（計）		43,020	△ 43,020
受取生産者積立金振替額		43,020	△ 43,020
雑 収 益（計）	3,115,144	3,130,385	△ 15,241
受 取 利 息	1,080,886	814,506	266,380
雑 収 益	2,034,258	2,315,879	△ 281,621
基金取崩額（計）		420,000	△ 420,000
預かり寄託金取崩額		420,000	△ 420,000
経 常 収 益 計	607,757,167	3,090,512,803	△ 2,482,755,636
(2)経 常 費 用			
事 業 費（計）	599,987,558	3,083,720,772	△ 2,483,733,214
支 払 補 て ん 金	40,930,310	2,125,880,732	△ 2,084,950,422
支 払 助 成 金	123,846,609	514,837,680	△ 390,991,071
役 員 報 酬	5,578,035	5,458,908	119,127
給 料 手 当	144,530,444	140,578,090	3,952,354
臨 時 雇 賃 金	2,649,683	2,679,545	△ 29,862
退 職 給 付 費 用	8,079,368	6,449,042	1,630,326
福 利 厚 生 費	25,556,812	24,003,638	1,553,174
会 議 費	237,953	202,496	35,457
旅 費 交 通 費	7,434,048	7,307,160	126,888
通 信 運 搬 費	2,474,344	2,303,245	171,099
減 価 償 却 費	2,591,143	2,137,969	453,174
消 耗 品 費	131,734,706	128,975,676	2,759,030
印 刷 製 本 費	1,885,320	1,725,493	159,827

正味財産増減計算書

令和 07年04月01日から 令和 08年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
図 書 資 料 費	260,806	30,620	230,186
燃 料 費	275,922	237,226	38,696
車 輜 費	173,665	6,000	167,665
光 熱 水 料 費	240,671	252,012	△ 11,341
賃 借 料	8,128,034	9,014,213	△ 886,179
諸 謝 金	759,065	6,437,606	△ 5,678,541
租 税 公 課	13,380,591	11,852,996	1,527,595
支 払 負 担 金	1,762,683	1,981,140	△ 218,457
役 務 費	1,376,788	1,161,497	215,291
厚 生 費	61,588	48,848	12,740
報 償 費	370,349	305,550	64,799
送 金 手 数 料	280,487	569,405	△ 288,918
広 報 費	2,757,551	284,930	2,472,621
雑 費	434,043	634,432	△ 200,389
検 査 費	992,496	13,848,943	△ 12,856,447
技 術 料	65,699,750	68,575,180	△ 2,875,430
委 託 費	5,504,294	5,940,500	△ 436,206
管 理 費(計)	7,676,879	6,327,925	1,348,954
人 件 費(計)	3,711,743	1,978,645	1,733,098
役 員 報 酬	135,960	105,084	30,876
給 料 手 当	2,747,238	773,195	1,974,043
賞与引当金繰入額	310,986	425,619	△ 114,633
退 職 給 付 費 用	302,952	595,206	△ 292,254
福 利 厚 生 費	214,607	79,541	135,066
会 議 費(計)	15,938	12,750	3,188
会 議 費	15,938	12,750	3,188
事 務 費(計)	642,580	1,161,631	△ 519,051
旅 費 交 通 費	284,393	746,574	△ 462,181
通 信 運 搬 費	142,193	224,468	△ 82,275
什器備品減価償却費	158,818	67,037	91,781
消 耗 品 費	57,176	123,552	△ 66,376
そ の 他 経 費(計)	3,306,618	3,174,899	131,719
印 刷 製 本 費	78,889	96,889	△ 18,000
図 書 資 料 費	57,087	49,082	8,005
光 熱 水 料 費	194,373	239,365	△ 44,992
賃 借 料	1,867,097	1,391,358	475,739
諸 謝 金	138,585	321,750	△ 183,165
租 税 公 課	13,290	10,938	2,352
支 払 負 担 金	132,468	189,788	△ 57,320
支 払 寄 付 金		200,000	△ 200,000
役 務 費	152,722	163,913	△ 11,191
厚 生 費	109,136	123,245	△ 14,109
交 際 渉 外 費	8,363		8,363
送 金 手 数 料	15,565	22,396	△ 6,831
雑 費	539,043	366,175	172,868
支払預り金(計)		420,000	△ 420,000
支払預かり寄託金		420,000	△ 420,000
経 常 費 用 計	607,664,437	3,090,468,697	△ 2,482,804,260
評価損益等調整前当期経常増減額	92,730	44,106	48,624
当 期 経 常 増 減 額	92,730	44,106	48,624
2.経 常 外 増 減 の 部			
(1)経 常 外 収 益			
受取積立金振替額(計)	1,190,631,725	6,701,783	1,183,929,942
受取積立金振替額	1,190,631,725	6,701,783	1,183,929,942
経 常 外 収 益 計	1,190,631,725	6,701,783	1,183,929,942
(2)経 常 外 費 用			
その他の経費(計)	88,019	97,166	△ 9,147
租 税 公 課	88,019	97,166	△ 9,147

正味財産増減計算書

令和 07年04月01日から 令和 08年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
支 払 返 戻 金(計)	1,192,065,269	6,702,233	1,185,363,036
支払機構積立準備金返還金	249,652,232		249,652,232
支払県積立準備金返還金	124,889,717		124,889,717
支払積立準備金返還金	61,258,370	6,701,783	54,556,587
支払補助金返還金	1,433,544	450	1,433,094
支払生産者肥育牛交付制度返戻金	754,831,406		754,831,406
経 常 外 費 用 計	1,192,153,288	6,799,399	1,185,353,889
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 1,521,563	△ 97,616	△ 1,423,947
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,428,833	△ 53,510	△ 1,375,323
他会計振替額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,428,833	△ 53,510	△ 1,375,323
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	171,531,552	171,585,062	△ 53,510
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	170,102,719	171,531,552	△ 1,428,833
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 補 助 金(計)	65,867,100	72,958,200	△ 7,091,100
受取機構生産者積立金補助金	43,911,400	48,638,800	△ 4,727,400
受取県生産者積立金補助金	21,955,700	24,319,400	△ 2,363,700
受 取 積 立 金(計)	544,912,850	341,330,737	203,582,113
受取生産者積立金	9,127,850	11,680,737	△ 2,552,887
受取肥育牛交付制度生産者負担金	535,785,000	329,650,000	206,135,000
特定資産運用益(計)	2,718,260	569,398	2,148,862
特定資産受取利息	1,806,150	556,975	1,249,175
機構受取利息	201,118		201,118
県受取利息	164,161		164,161
生産者受取利息	546,831	12,423	534,408
固定資産除去額 (計)	△ 2		△ 2
什器備品除却損	△ 2		△ 2
一般正味財産への振替額 (計)	△ 1,200,851,947	△ 278,923,407	△ 921,928,540
一般正味財産への振替額	△ 1,200,851,947	△ 278,923,407	△ 921,928,540
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	△ 587,353,739	135,934,928	△ 723,288,667
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	2,631,964,800	2,496,029,872	135,934,928
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	2,044,611,061	2,631,964,800	△ 587,353,739
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	2,214,713,780	2,803,496,352	△ 588,782,572

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券 … 取得原価によって計上している。なお、取得価額と債券金額との差額について重要性が乏しいため償却原価法は採用していない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却の方法

什器備品 … 定額法による減価償却を実施

ソフトウェア … 定額法による減価償却を実施

(4) 引当金の計上基準

退職給付引当金 … 職員の退職給付に備えるため、期末退職給付の要支給額に相当する金額を計上している。

賞与引当金 … 職員に対する賞与の支給に備えるため、当期に帰属する期間の支給見込み額を計上している。

貸倒引当金 … 長期未収金に係る引当金

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式による。

2. 会計方針の変更 なし

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	45,188,142	8,382,320	629,817	52,940,645
減価償却引当資産	12,960,077	0	3,800,780	9,159,297
ソフトウェア更新資産	7,576,000	0	2,117,500	5,458,500
生産者積立資産	0	87,824,630	0	87,824,630
生産者積立準備資産	690,134,669	790,598	448,628,169	242,297,098
特別の積立資産	1,140,250,618	749,429	0	1,141,000,047
償還円滑化積立資産	44,186,728	121,512	0	44,308,240
家畜防疫事業運営資産	8,906,544	20,608	0	8,927,152
肥育牛交付制度基金資産	757,392,785	536,839,891	765,051,628	529,181,048
預り寄託金資産	388,710,000	0	0	388,710,000
合 計	3,095,305,563	634,728,988	1,220,227,894	2,509,806,657

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
退職給付引当資産	52,940,645	(0)	(0)	(52,940,645)
減価償却引当資産	9,159,297	(0)	(9,159,297)	(0)
ソフトウェア更新資産	5,458,500	(0)	(5,458,500)	(0)
生産者積立資産	87,824,630	(87,824,630)	(0)	(0)
生産者積立準備資産	242,297,098	(242,297,098)	(0)	(0)
特別の積立資産	1,141,000,047	(1,141,000,047)	(0)	(0)
償還円滑化積立資産	44,308,240	(44,308,240)	(0)	(0)
家畜防疫事業運営資産	8,927,152	(0)	(8,927,152)	(0)
肥育牛交付制度基金資産	529,181,048	(529,181,048)	(0)	(0)
預り寄託金資産	388,710,000	(0)	(0)	(388,710,000)
合 計	2,509,806,657	(2,044,611,063)	(23,544,949)	(441,650,645)

5. 担保に供している資産

該当なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品			
電算機一式 畜産協会クライアント	2,683,067	781,609	1,901,458
電算機一式 畜産協会クライアント	3,474,149	1,541,684	1,932,465
サーバー NEC iStorageNS100Tk	1,331,000	776,414	554,586
PC周辺機器	572,000	571,998	2
移動棚 KSCJ 371-257WMR	1,064,100	1,064,099	1
耐火金庫 KMX-50SDA	323,356	323,354	2
オフィスチェア	176,825	176,824	1
小 計	9,624,497	5,235,982	4,388,515
ソフトウェア	取得価額	減価償却費	当期末残高
肉用牛情報データベース	2,740,278	1,505,528	1,234,750
肉用牛情報データベースシステム改修	2,117,500	35,292	2,082,208
小 計	4,857,778	1,540,820	3,316,958

7. 保証債務等 該当なし

8. 満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債権の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
熊本県公募公債			
令和4年度第2回公募公債	100,000,000	98,413,500	△ 1,586,500
令和5年度第2回公募公債	100,000,000	96,999,000	△ 3,001,000
合 計	200,000,000	195,412,500	△ 4,587,500

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
助成金						
機構生産者積立金補助金	機 構	249,369,190	43,911,400	249,369,190	43,911,400	指定正味財産
県生産者積立金補助金	熊 本 県	124,684,595	21,955,700	124,684,595	21,955,700	指定正味財産
計		374,053,785	65,867,100	374,053,785	65,867,100	
合 計		374,053,785	65,867,100	374,053,785	65,867,100	

10. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額	備 考
経常収益への振替額		
肥育牛交付制度の交付に係る振替額	10,220,222	
経常外収益への振替額		
生産者積立準備金返還に係る振替額	435,800,319	
肥育牛交付制度の返還に係る振替額	754,831,406	
合 計	1,200,851,947	

11. 関連当事者との取引の内容 該当なし

12. 重要な後発事象 該当なし

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

公益社団法人熊本県畜産協会

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			
	普通預金			135,011,506
		肥後銀行秋津支店	運転資金として	55,225,096
		肥後銀行上通支店	運転資金として	27,573,797
		熊本市農協中央支店	運転資金として	33,818,018
		熊本市農協中央支店	肉用子牛事業生産者積立金仮受金等として	15,688,243
		熊本市農協中央支店	マルキン	2,706,352
	定期預金	肥後銀行秋津支店	運転資金として	2,000,000
	未収金			123,253,836
			補助事業等に係る精算額	123,253,836
	立替金		家畜改良事業に係る遺伝子検査料・登記料等	136,950
流動資産合計				260,402,292
(固定資産)	特定資産			
	退職給与引当資産	< 定期預金 > 熊本市農協中央支店	職員17名に対する退職金の支払いに備えた資産	52,940,645 52,940,645
	減価償却引当資産	< 定期預金 > 熊本市農協中央支店	公3事業に係る資産取得資産であり、公1と管理運用業務と共有している。	9,159,297 9,159,297
	ソフトウェア更新資産	< 定期預金 > 熊本市農協中央支店	公3事業に係る資産取得資産	5,458,500 5,458,500
	生産者積立資産	< 定期預金 > 熊本市農協中央支店	肉用子牛運営適正化事業の公益目的財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	87,824,630 87,824,630
	生産者積立準備資産	< 定期預金 > 熊本市農協中央支店	肉用子牛運営適正化事業の公益目的財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	242,297,098 242,297,098
	特別の積立資産	< 定期預金 > 熊本市農協中央支店	肉用子牛運営適正化事業の公益目的財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	1,141,000,047 1,141,000,047
	償還円滑化積立資産	< 定期預金 > 熊本市農協中央支店	肉用子牛運営適正化事業の公益目的財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	44,308,240 44,308,240
	家畜防疫事業運営特別資産	< 定期預金 > 熊本市農協中央支店	公2の家畜疾病防疫のための財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	8,927,152 8,927,152
	肥育牛交付制度基金資産	< 普通預金 > 熊本市農協中央支店	肥育牛交付制度基金事業の公益目的保有財産であり、運用益は資産に繰り入れる。	529,181,048 529,181,048
	預かり寄託金資産			388,710,000
		< 有価証券 > 野村証券熊本支店	法人事業に係る資産であり、運用益を管理運用業務に使用している。	200,000,000
		< 定期預金 > 熊本市農協中央支店		188,710,000
< 特定資産計 >				2,509,806,657

財 産 目 録

令和8年3月31日現在

公益社団法人熊本県畜産協会
(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	什器備品			9,624,497
		電算機 19台	公3事業の公益目的保有財産であり、公1と管理運用業務と共有して使用している。	6,157,216
		移動棚 1台	公3事業の公益目的保有財産であり、公1と管理運用業務と共有して使用している。	1,064,100
		サーバー 1台	公3事業の保有財産であり、その他公益事業、及び管理運用業務等に使用している。	1,331,000
		PC周辺機器 2台	公3事業の公益目的保有財産であり、公1と管理運用業務と共有して使用している。	572,000
		耐火金庫 2台	公益事業、及び管理運用業務等に使用している。	323,356
		オフィスチェア 1式	事務所備付用	176,825
	ソフトウェア	ソフトウェア	公3事業の公益目的保有財産であり、公1と管理運用業務と共有して使用している。	3,316,958
	長期預け金	(一社)全国肉用牛振興基金協会		9,200,000
	中央畜産会預け金	(公社)中央畜産会	預け金	900,000
	長期未収金			21,361,359
	什器備品減価償却累計額(△)			5,235,982
		電算機 19台		2,323,293
		移動棚 1台		1,064,099
		サーバー 1台		776,414
		PC周辺機器 2台		571,998
		耐火金庫 2台		323,354
		オフィスチェア 1式		176,824
	貸倒引当金(△)		長期未収金に係る貸倒引当金	21,361,359
＜その他固定資産計＞				17,805,473
固定資産合計				2,527,612,130
資産合計				2,788,014,422
(流動負債)	雑負債			
	未払金		補助事業等に係る未払金	96,364,045
			管理業務に係る費用	96,364,045
	預り金	その他		4,138,503
		役職員	社会保険料等個人負担分	1,467,151
		その他	無事戻し(肥育牛交付制度)	2,671,352
	仮受金			12,740,667
		生産者積立金等	肉用子牛事業積立金	12,705,667
			肉用牛肥育経営安定交付金	35,000
	賞与引当金			14,046,782
	未払消費税	熊本東税務署	令和7年度事業に係る消費税	4,360,000
流動負債合計				131,649,997
(固定負債)	退職給付引当金	職員	職員17名に対する退職給付金の引当金	52,940,645
	預かり寄託金		協会の会員からの預かり寄託金	388,710,000
		熊本県		160,000,000
		市町村		22,940,000
		農協及び関係団体		205,770,000
固定負債合計				441,650,645
負債合計				573,300,642
正味財産				2,214,713,780

令和8年度事業計画

I 地域振興に資する畜産経営体の育成・経営支援及び畜産に関する情報の提供・普及啓発の推進（公益事業1）

（I）畜産の技術指導に関する事業

1 畜産経営技術高度化推進事業（熊本県受託事業）

（1）事業の目的

畜産経営に対する経営技術指導及び経営管理における的確な対応を効果的かつ効率的に推進することにより、本県の畜産振興に資する。

（2）事業の内容

ア 専門家集団の設置

（ア）構 成 員：熊本県、農業団体等

（イ）畜産経営及び畜産情勢に関する調査研究、畜産経営技術改善方策及び具体的な指導手法等の検討

（ウ）常勤専門家集団：総括畜産コンサルタント等 11人

（エ）非常勤専門家集団：県職員、団体職員、税理士等 11人

イ 地域における相談窓口の設置

（ア）相談窓口配置数：1 か所

（イ）相談等の内容：畜産経営技術指導、畜産コンサルタントの要請等

ウ 畜産経営に対する支援指導の実施

（ア）経営改善等支援：経営診断改善指導、経営管理技術指導、生産技術指導等

（イ）セミナー、研修会等の開催

エ 畜産経営関係情報の提供

（ア）ホームページによる畜産経営関係情報の提供

オ 指導用機器の整備

（ア）畜産経営分析支援システムの活用

2 畜産経営技術指導事業（地方競馬全国協会補助事業）

（1）事業の目的

県からの委託で実施する畜産経営技術高度化推進事業、県産畜産物振興の各協議会との連携及び中央団体からの畜産関連施策、地方競馬を主とする馬事振興普及啓発等の事業を推進する。

（2）事業の内容

ア 畜産経営の支援体制強化を図るための事業の推進

イ 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業の推進

ウ 馬事普及啓発の推進体制の強化

3 畜産特別資金等推進指導事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

畜産特別資金を必要とする経営体を早期に把握するとともに、畜産特別資金（リノベ資金）借入者の経営改善指導支援のため、県支援協議会の開催、経営改善計画作成指導・計画達成指導等を通じて、借入者及び融資機関に対して必要な指導支援を行う。

(2) 事業の内容

ア 県支援協議会の開催

熊本県畜産経営改善安定推進協議会において指導計画、借入農家の計画・実績等について会議の開催（年4回）

イ 融資機関への指導・助言

融資機関8、指導回数 年24回

ウ 経営改善計画作成・見直し及び達成指導（単位：戸、回）

	計画作成指導	見直し計画指導	達成指導
指導戸数	5	20	6
指導回数	5	20	6

エ 借入者の経営改善のための指導資料作成

経営改善指導の手引き書 50部作成

オ その他推進事務

全国会議 年2回、ヒアリング 年2回

カ 借入者の負債残高等進捗状況調査

融資機関 8、調査戸数 54戸（全借入者）

キ 経営改善の定期的な実績点検調査

上期・下期 年2回 点検戸数 24戸

ク 借入者への指導事項

現地指導 年1回

4 自給飼料推進事業（畜産協会事業）

(1) 事業の目的

本県の自給飼料増産、畜産経営のコスト低減・安定化を図る。

(2) 事業の内容

自給飼料基盤の強化、生産性向上、品質向上、飼料生産の組織化、外部化及び熊本型放牧（広域、周年、水田・畑、耕作放棄地）の普及による草資源の有効利用や農地保全、景観保持を推進する。

5 家畜防疫・衛生指導対策事業（地域農場 HACCP 認証支援）

（公益社団法人中央畜産会補助事業）

（1）事業の目的

県内の農場 HACCP 認証支援に係るシステム構築の支援、強化・維持及び普及を図る。

（2）事業の内容

ア 地域農場 HACCP 認証構築指導

県内での農場 HACCP 認定に向け、必要書類の作成や検証等のシステム運営についての助言・指導を行い、地域の中核となる農場を育成することで、地域における農場 HACCP 認証の普及を図る。指導農場 5 農場

イ 農場 HACCP 普及推進協議会開催

農場 HACCP 認証農場関係者等を講師とした検討会を開催し、普及活動に資する。

6 畜産経営技術指導事業（地域畜産支援指導等体制強化事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

（1）事業の目的

県内の畜産農家の経営支援のため、研修会等の県内活動に対する支援や窓口相談活動を実施し、本県の畜産振興に資するとともに、地方競馬開催への活動支援を実施する。

（2）事業の内容

ア 専門家派遣の実施

イ 研修会への参加

ウ 窓口相談活動の実施

（Ⅱ）畜産の経営支援に関する事業

1 肉用牛経営安定対策補完事業（地域における肉用牛生産基盤強化等対策事業）

（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

（1）事業の目的

肉用牛の生産基盤の安定と強化を図るため、遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛や優良な繁殖雌牛の導入支援、繁殖雌牛の増頭に資する簡易牛舎等の整備、高齢化等に対処する肉用牛ヘルパー組織への支援及び地域の特徴ある肉用牛振興対策等を実施する。

（2）事業の内容

ア 肉用牛生産基盤強化対策

（ア）遺伝的多様性に配慮した繁殖雌牛及び優良な繁殖雌牛の導入を支援する。

導入奨励金は、6 万円／頭、9 万円／頭（稀少性の高い牛）

（イ）繁殖経営の生産性向上に必要な簡易牛舎等の整備を支援する。

繁殖経営の生産性向上に必要な簡易牛舎の整備又は増築、子牛の健康維持に

資する器具機材の導入補助

(ウ) 肉用牛ヘルパーの推進を支援する。

肉用牛ヘルパー利用組合が実施する事業に要する補助

イ 地方特定品種等の振興対策

地方特定品種の特徴を活かした生産や放牧利用等を拡大するための取組を支援する。

(ア) あか毛和種の振興

放牧地の利用向上に係る放牧地の整備及び飼料生産・粗飼料多給のための飼料生産等の取組への支援

2 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

畜産クラスター事業のうち機械導入事業（リース方式・購入方式）に係る熊本県窓口団体として、関係する事務手続き等を行うことによって、県下各クラスター協議会計画実現と県下地域畜産振興に資する。

(2) 事業の内容

ア 県下各クラスター協議会から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行う。

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催する。

ウ 取組主体の一部について、検収調書を基に現地調査を実施する。

3 ICT化等機械装置等導入事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

酪農・肉用牛経営の生産基盤の強化に資するため、ICT等の新技術を活用した省力化機器の導入を支援するとともに、スマート農業の推進及び労働時間の削減を加速化し、計画的に省力化・生産性向上を図る。

(2) 事業の内容

ア 畜産ICT応援会議から要望書・申請書等の受理、確認送付、承認通知等事務を行う。

イ 業務を円滑に行うため、全国推進会議に出席し、県段階の打合せと推進会議を開催する。

ウ 機械装置の利用状況の確認、労働削減効果を高めるための改善指導等を行う。

エ 必要に応じて中央畜産会からの依頼による現地調査、情報収集、取組による成果等を把握する。

4 熊本型放牧高度化支援事業（放牧牛導入）（熊本県補助事業）

（1）事業の目的

放牧管理の高度化による負担軽減と放牧牛の増頭を支援することで、阿蘇地域の牧野等の畜産的利用の拡大及び放牧を活用したあか牛等の肉用牛生産基盤の強化を図る。

（2）事業の内容

熊本型放牧拡大のために、農協等の事業主体が放牧実施農家に貸付ける放牧牛（繁殖雌牛）の購入に要する費用の一部を助成する。

放牧牛 100 千円／頭（国 1/2、県 1/2）

5 酪農労働省力化対策事業（楽酪GO事業）（公益社団法人中央畜産会受託事業）

（1）事業の目的

脱脂粉乳在庫の低減、乳製品の消費拡大プロモーション、やむを得ず加工仕向けになる生乳に対する補給金相当額の交付、早期乾乳の推進などの取組に併せて労働負担軽減のための機械装置導入と一体的な施設整備による酪農経営の体質強化を推進する。

（2）事業の内容

酪農を営む者に対し、実情に応じた経営体質強化に資する労働負担軽減のための機械装置導入と一体的な施設整備を支援する。

6 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（優良繁殖雌牛更新加速化事業）

（一般社団法人全国肉用牛振興基金協会受託事業）

（1）事業の目的

肉用牛の生産基盤の強化を図るため、畜産クラスター計画に基づき、取組主体の構成員が高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛に更新を図る。

（2）事業の内容

令和 8 年 1 月 1 日～令和 8 年 12 月 31 日に高齢和牛の繁殖雌牛を出荷し、優良な繁殖雌牛に更新した場合、更新実績に応じた奨励金を交付することにより、3 年後の繁殖雌牛の平均月齢を低下させることを目指す。

ア 主な要件

(ア) 出荷する繁殖雌牛は、出荷時点で満 10 歳（120 か月齢）以上であること。

(イ) 更新牛は、令和 8 年 12 月 31 日時点で満 9 か月齢以上であること。

(ウ) 更新牛が導入牛の場合は、導入時点で満 14 か月齢未満（初任牛を除く）であること。

(エ) 更新牛の枝肉 5 形質及びその他家畜改良上重要な形質（脂肪交雑は除く。）のうち 2 つ以上の育種価又は期待育種価が上位 1/2 以内であること。

(オ) 遺伝的多様性に配慮し、特に希少な父牛に由来する繁殖雌牛への更新を推進するために奨励金を増額し支援する（黒毛和種のみ）。

イ 1 頭当たり奨励金（1 交付対象者当たり上限 25 頭まで）

優良な繁殖雌牛	希少な父牛に由来する繁殖雌牛
10 万円/頭	15 万円/頭

ウ 事業推進

事業実施計画に基づき、取組主体が行う事業を円滑に推進する。

7 畜産経営総合緊急対策事業（肉用牛経営災害緊急支援対策事業）

（独立行政法人農畜産業振興機構補助事業）

（1）事業の目的

災害等による停電時における家畜の生命維持に要する機械の稼動のための支援を行うことにより、畜産経営体の経営継続を目的とする。

（2）事業の内容

生産者集団等が災害等による停電時における畜産経営体の経営継続のため、家畜の生命維持に要する機械の稼動のため、次に掲げる取組の実施に要する経費を支援する。

ア 経営継続支援対策

（ア）牛舎、飼養管理の附帯施設及び機械の補改修等に要する経費

（イ）簡易牛舎等の整備に要する経費

（ウ）緊急避難等支援に要する経費

（エ）繁殖に供する雌牛の導入支援に要する経費

（オ）電力確保支援

（カ）飲料水等の確保支援

イ 非常用電源の整備

（ア）非常用電源の導入

（イ）リース事業者からの非常用電源の借受

（Ⅲ）畜産に関する調査研究及び情報提供に関する事業

1 公庫資金活用推進事業（課題解決サポート事業）

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

（1）事業の目的

畜産農家が公庫資金を活用し、安定的な経営展開に資する。

（2）事業の内容

公庫資金を借入した畜産経営体の中で、借入時の経営計画の達成が低い経営体について、経営課題、経営改善状況等を調査し、その改善計画の作成支援及びこれに基づく助言等を行う。

2 貸付事業指導等事業（公益財団法人畜産近代化リース協会受託事業）

(1) 事業の目的

畜産近代化リース協会貸付事業において、貸し付けられた機械施設の適正な導入の確認と効率的な活用を図るための指導等を行い、同事業を推進する。

(2) 事業の内容

ア 貸付機械施設の確認及び管理状況についての調査

イ 貸付機械施設の適正な利用についての技術指導

3 畜産クラスター全国推進事業に係る実態調査

（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

畜産経営体等の経営内容に係る調査を行い、畜産クラスターの中心的な経営体の育成に必要な指標作りを行う。

(2) 事業の内容

本県酪農家、肉用牛繁殖農家及び肥育農家の事例 11 戸の実態調査を行い、中央畜産会に報告する。

4 生産技術情報提供事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

家畜の生産技術指導に資する情報を整備するため、家畜の生産・出荷成績等のデータ収集を行い、その分析結果に基づき助言指導を実施することを目的とする。

(2) 事業の内容

ア 前年及び当年の家畜生産性に係るデータの収集の実施

イ 成績に関する考察と分析の実施

ウ 分析結果に基づく助言指導の実施

5 畜産物輸出対応生産円滑化事業

（一般社団法人日本畜産物輸出促進協議会受託事業）

(1) 事業の目的

2030 年の農林水産物・食品の輸出目標達成のためには、輸出先国の規制に沿った飼養衛生管理やアニマルウェルフェアへの対応等、生産段階での対応が必要であり、地域の特性と地域の畜産物輸出の実態に即した輸出に対する生産者の理解醸成や意識向上が急務である。そこで、県畜産行政と緊密な連携の下に畜産物輸出に対する生産者の理解醸成等を図り、畜産物輸出の促進に資する。

(2) 事業の内容

ア 輸出啓発資材の配布

イ 輸出相談

6 飼料作物の生産・利用の地域モデル実証事業

(一般社団法人日本草地畜産種子協会受託事業)

(1) 事業の目的

持続可能な飼料産地形成に向けて、労働力不足などの地域の抱える課題解決を図るため、飼料生産組織を核とする青刈りトウモロコシ等の飼料作物の持続的な生産・利用の地域モデルを実証するために実施する。

(2) 事業の内容

地域のコントラクター等が核となって水田を活用して青刈りトウモロコシ等の生産・利用を行う地域モデルの実証に取り組む経営体（飼料生産者、コントラクター等）の持続性・収益性等に関する調査・分析を行う。

Ⅱ 国民生活の安全安心に資する家畜衛生対策の推進（公益事業２）

（Ⅰ）家畜伝染性疾病的予防接種及び予防措置に関する事業

1 家畜生産農場衛生対策事業（国補助事業）

（１）事業の目的

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種や抗体検査及び患畜同居家畜の自主とう汰への補助を実施することにより、家畜伝染病の予防、又はまん延防止を図る。

（２）事業の内容

ア ヨーネ病早期清浄化防疫推進事業

ヨーネ病自主とう汰

イ E B L 対策事業

高リスク牛とう汰

ウ 牛ウイルス性下痢対策事業

P I 牛自主とう汰

エ 地域慢性疾病対策事業

豚の P R R S 検査

オ 疾病流行防止支援対策事業

牛異常産ワクチン接種計画 35,000 頭

2 熊本県自衛防疫強化総合対策事業（特定疾病損耗防止推進事業）

（熊本県補助事業）

（１）事業の目的

畜産経営に及ぼす影響が大きい家畜伝染病について、予防接種を実施する。

（２）事業の内容

ア 特定疾病損耗防止推進事業 100,000 頭

牛流行性感冒、牛伝染性鼻気管炎、牛アカバネ病、馬インフルエンザの発生予防

3 育成馬等予防接種推進事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

（１）事業の目的

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防接種を実施する。

（２）事業の内容

区分	接種頭数	備 考
1 歳馬三種混合ワクチン基礎接種	64	2 回接種
1 歳馬三種混合ワクチン補強接種	17	
1 歳馬インフルエンザ追加接種	3	
合 計	84	

4 馬防疫強化地域推進対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

馬伝染病予防のため、馬飼養農家の申請により予防注射を実施する。

(2) 事業の内容

ア 馬鼻肺炎生ワクチン 84 頭

イ 馬インフルエンザ 750 頭

(Ⅱ) 畜産物の生産・衛生の指導及び調査に関する事業

1 熊本県自衛防疫強化総合対策事業（自衛防疫推進事業）（熊本県補助事業）

(1) 事業の目的

市町村及び関係団体と連携し、家畜自衛防疫の強化・推進を図る。

(2) 事業の内容

ア 家畜自衛防疫事業推進会議 年 2 回

イ 地域推進会議 5 か所（各地区家畜自衛防疫促進協議会）

ウ 事業需要等調査、広報

2 馬飼養衛生管理特別対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

馬の飼養農家や指導者の衛生管理技術の向上のため、関係者に対し講習会や調査を行う。

(2) 事業の内容

ア 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催

イ 馬飼養衛生管理技術講習会の開催

ウ 地域馬獣医療実態調査

3 家畜防疫・衛生指導対策事業（公益社団法人中央畜産会補助事業）

(1) 事業の目的

地域の自衛防疫活動強化のため、行政・関係機関と連携し、防疫演習等を実施する。また、各県畜産協会と情報交換を行い、事業の円滑な推進を図る。

(2) 事業の内容

ア 生産者段階における「防疫演習」の実施を支援する。

イ 九州ブロック協議会に参加する。

(Ⅲ) 家畜伝染性疾病的の予防徹底のための経営支援に関する事業

1 家畜防疫互助基金支援事業（公益社団法人中央畜産会受託事業）

(1) 事業の目的

家畜伝染病発生時の伝染病まん延防止のための家畜の淘汰とこれに伴う農家経営再建のため、農畜産業振興機構と農家が拠出した基金から、交付金を交付

する。

(2) 事業の内容

ア 家畜防疫互助等推進

(イ) 推進会議の開催

(ロ) 生産者等に対する事業の普及・指導・連絡調整

イ 新規加入の推進（事業対象年間 令和 6 ～ 8 年度）

加入状況（令和 8 年 1 月末現在）

家畜の種類	飼養戸数	加入戸数	加入率	積立金額(円)
乳用牛	454 戸	426 戸	93%	8,495,415
肉用牛	1,957 戸	1,809 戸	92%	21,171,065
豚	137 戸	83 戸	60%	28,384,800
計	延 2,548 戸	延 2,318 戸	90%	58,051,280

※飼養戸数は県畜産統計（R6.2.1）

(IV) 畜産経営の環境保全に関する事業

1 畜産環境保全指導事業（畜産協会事業）

(1) 事業の目的

畜産経営や地域の環境保全を目的として、畜産農家や関係者に対して、セミナー等を行う。

(2) 事業の内容

熊本県耕畜連携推進協議会事務局員として、以下に取り組む。

ア 堆肥づくりスキルアップセミナー

イ 堆肥コンクール

(V) 獣医師等の育成支援に関する事業

1 獣医師養成確保修学資金給付事業（国及び熊本県補助事業）

(1) 事業の目的

家畜伝染病の予防・まん延防止や食品衛生を担う産業動物獣医師や行政獣医師の育成を目的として、獣医学を専攻する学生に修学資金を給付する。

(2) 事業の内容

ア 産業動物獣医師及び県家畜保健衛生所等獣医師の養成

11 名（継続 9 名 新規 2 名）

イ 県公衆衛生獣医師の養成

7 名（継続 6 名 新規 1 名）

Ⅲ 国民生活の物価安定に資する畜産物価格安定対策の推進（公益事業３）

（Ⅰ）肉用子牛の価格差補てんに関する事業

１ 肉用子牛生産者補給金制度（業務対象年間 令和７～１１年度）

（独立行政法人農畜産業振興機構及び熊本県補助事業）

（１）事業の目的

肉用子牛の価格が低迷し、保証基準価格を下回った場合に、生産者に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛の生産の安定等を図ることを目的とする。

（２）事業の内容

ア 補給金制度に基づく加入者、加入頭数の促進

イ 保証基準価格・合理化目標価格

（単位：円/頭）

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格
黒毛和種	600,000 (574,000)	457,000 (446,000)
褐毛和種	547,000 (523,000)	417,000 (406,000)
その他の肉専用種	348,000 (334,000)	265,000 (259,000)
乳用種	174,000 (164,000)	119,000 (110,000)
乳交雑種	274,000 (274,000)	216,000 (216,000)

※上段は令和８年４月１日からの価格

下段（ ）内は令和８年３月３１日までの価格

ウ 生産者積立金の額

(単位：円/頭)

品種区分	生産者負担金	生産者積立助成金		生産者積立金
	①生産者	②県	③機構	(①+②+③)
	(1/4)	(1/4)	(1/2)	
黒毛和種	400	400	800	1,600
褐毛和種	1,500	1,500	3,000	6,000
その他の肉専用種	5,000	5,000	10,000	20,000
乳用種の品種	1,250	1,250	2,500	5,000
乳交雑種	600	600	1,200	2,400

※令和7年4月1日登録分から適用

エ 個体登録計画頭数

(単位：頭)

品種区分	計画頭数
黒毛和種	25,800
褐毛和種	4,300
その他の肉専用種	1
乳用種	700
乳交雑種	6,600
合 計	37,401

2 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の目的

肉用子牛生産者補給金制度に係る業務の適切かつ円滑な実施体制の確保及び肉用子牛生産者補給金の交付事務処理の高度化を図ることを目的とする。

(2) 事業の内容

ア 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

肉用子牛生産者補給金制度運営適正化のために次の項目の充実を図る。

(ア) 肉用子牛の個体識別と個体登録

(イ) 肉用子牛の販売、保留及び異動確認

(ウ) 家畜市場データの収集、整理、送信、集計、分析

(エ) 電算処理システムの整備

(オ)業務推進会議の開催

(カ)現地調査指導など

イ 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な推進を図り、肉用子牛生産の安定並びに肉用牛経営の安定的発展に資する。

ウ 肉用子牛の取引状況の調査報告

指定肉用子牛の取引結果を算出するため、県内指定市場を対象に出荷子牛の日齢・体重・取引価格等について調査し、その結果を農畜産業振興機構に報告する。

また、電算処理による分析に基づき「熊本県の肉用子牛市場調査」として取りまとめ、関係機関、団体等に配布する。

※本県の指定家畜市場 2か所（熊本県家畜市場、球磨家畜市場）

3 優良和子牛生産推進緊急支援事業

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の目的

肉用子牛の価格が大幅に下落し、生産者の経営環境が悪化しており、生産者の意欲低下により肉用牛生産基盤の弱体化が懸念されるため、飼養管理の向上に取り組む和子牛生産者を緊急的に支援する。

(2) 事業の内容

市場等で取引される和子牛のブロック別平均価格が、発動基準（下表）を下回った場合に、飼養管理向上のための取組メニューを行う生産者が販売した和子牛に対して、奨励金を交付する。

ア 発動基準

発動基準 (税込)	黒毛和種	62 万円 (61 万円)	61 万円 (59 万円)	－ (58 万円)
	褐毛和種	57 万円 (56 万円)	56 万円 (54 万円)	－ (53 万円)
	その他の肉専用種	37 万円 (36 万円)	36 万円 (34 万円)	－
必要取組数		2	3	－ (4)
奨励金単価		1 万円/頭	2 万円/頭	－ (3 万円/頭)

※上段は令和8年4月1日からの価格、下段（ ）内は令和8年3月31日までの価格

イ 飼養管理向上のための取組メニュー

母子共通メニュー	子牛メニュー	母牛メニュー
・飼料効率の改善 ・添加物による栄養補助 ・駆虫・防虫対策 ・寒冷・暑熱対策 ・牛体管理の徹底	・疾病防止のワクチン接種 ・疾病の早期治療 ・栄養状態を強化する人工哺乳	・疾病防止のワクチン接種 ・発情発見機等の活用 ・高度な栄養管理

※1 黒毛和種は、北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の4ブロックとし、全国平均に対して著しく高い価格となっている都道府県については、ブロック別平均価格の計算から除外し、単独で平均価格を計算

※2 褐毛和種及びその他の肉専用種は全国1ブロック

4 和子牛産地基盤強化緊急特別対策事業

(独立行政法人農畜産業振興機構補助事業)

(1) 事業の目的

枝肉価格の低下や飼料価格の高止まり等により、子牛価格が低下し、繁殖農家の生産基盤が危機的状況にあることから、和子牛産地の基盤強化につながる取組を支援することにより、意欲ある生産者の経営の継続・発展に資する環境を整備する。

(2) 事業の内容

肉用子牛の品種区分毎のブロック別平均価格が、発動基準（下表）を下回った場合に、「和子牛産地基盤強化計画」を作成した地域において、産地基盤強化に資する取組メニュー（下表）のうち1つ以上行う生産者に対して、販売・自家保留頭数に応じた奨励金1万円/頭（離島等は5万円/頭）を交付する。

品種区分	発動基準	取組メニュー
黒毛和種	62万円 (61万円)	① 地域内自給飼料の生産・利用 ② 早期出荷に向けた地域内一貫生産 ③ 需給に応じた生産
褐毛和種	57万円 (56万円)	
その他の肉専用種	37万円 (36万円)	

※上段は令和8年4月1日からの価格、下段（ ）内は令和8年3月31日までの価格

※1 黒毛和種は、北海道、東北、本州関東以西・四国、九州・沖縄の4ブロックとし、全国平均に対して著しく高い価格となっている都道府県については、ブロック別平均価格の算定から除外し、単独で平均価格を計算

※2 褐毛和種及びその他の肉専用種は全国1ブロック

※3 黒毛和種、褐毛和種は四半期、その他肉専用種は年度で計算

※4 「離島等」は、離島振興法第2条第1項の規定により指定された離島振興対策実施地域、沖縄県、鹿児島県奄美市及び同県大島郡

(Ⅱ) 肉用牛肥育経営の所得補てんに関する事業

1 肉用牛肥育経営安定交付金制度（事業対象期間：令和7年度～令和9年度）

（独立行政法人農畜産業振興機構受託事業）

(1) 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務

ア 事業の目的

肉用牛肥育経営安定交付金制度に係る業務の円滑な実施を図るため、機構から事務を受託し、制度の普及及び交付に係る申請事務等の業務を実施する。

イ 令和8年度の実施計画

(ア) 契約者数 280戸

(イ) 個体登録予定頭数 (単位:頭)

品種区分	肉専用種	交雑種	乳用種	計
頭数	22,000	8,000	400	30,400

(2) 肉用牛肥育経営安定交付金制度

ア 事業の目的

交付契約を締結した生産者に対して、肥育牛補填金の交付に要する資金として、肥育安定基金を造成し、標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合、差額の9割を機構の交付金と併せて補填金を交付する。

イ 令和8年度の契約肥育牛1頭当たりの生産者負担金の単価（熊本県）

令和8年3月に公表予定

IV 畜産経営の安定に資する家畜の改良・登録の推進（その他事業1）

（I）登録事業

黒毛和種、褐毛和種、種豚、重種馬の登録・登記の実施。登録・登記は、家畜の改良増殖の基礎であり、関係機関の協力を得てその必要性を周知徹底し推進に努め、体型・肉質の優れた系統の選抜並びに増頭に取り組むと共に下記の頭数を目標とする。

（単位：名、頭）

畜 種	登録・登記の種類	予定数
黒 毛 和 種	会 員	1,500
	高 等 登 録	40
	本 原 登 録	800
	基 本 登 録	2,200
	子 牛 登 記	24,000
褐 毛 和 種	会 員	600
	育 種 高 等 登 録	10
	高 等 登 録	10
	産 肉 登 録	5
	繁 殖 登 録	800
	子 牛 登 記	4,500
種 豚	種 豚 登 録	350
	子 豚 登 記	800
	交 雑 証 明	40
重 種 馬	繁 殖 登 録	22
	血 統 登 録	120
	補助血統登録	0

※黒毛和種は、公益社団法人全国和牛登録協会熊本県支部、

褐毛和種は、日本あか牛登録協会熊本県支部の事業として実施

(Ⅱ) 改良事業

1 改良推進事業（畜産協会事業）

国・県並びに団体等が推進する改良増殖諸事業に積極的に参画し、ゲノム育種価の分析支援等、本県家畜の改良増殖の促進に努める。

2 養豚振興事業（一般社団法人日本養豚協会受託事業）

種豚登録、子豚登記、一腹記録簿の各種証明書の発行を実施し、登録事業を推進する。

3 重種馬振興事業（公益社団法人日本馬事協会受託事業）

重種馬の生産率向上を図るため、種雄馬管理指導を行うとともに、人工授精利用等繁殖技術の推進に努める。

公益社団法人日本馬事協会から登録審査委員の委嘱を受け、重種馬の血統登録、繁殖登録等の検査を実施し、各種証明書の発行手続きを行う。

4 集団活動への支援

各地域における和牛改良組合、グループ活動に対して協力する。

5 共進会、品評会

県内で開催される各種共進会、品評会の上位入賞家畜を表彰し、会員の改良意欲の高揚に努める。

6 第13回全国和牛能力共進会への対応

令和9年に北海道で開催される第13回全国和牛能力共進会に向けて、関係機関と連携して取組みを進める。

7 一般社団法人日本あか牛登録協会（熊本県支部を含む）に係る事業協力

(1) 畜産生産力・生産体制強化対策事業

ア 家畜能力等向上強化推進のうち多様な改良情報の収集・分析及び肉用牛の出荷時期早期化等対策（肉用牛改良情報活用協議会分担事業）

(ア) 事業の目的

肉用牛改良情報活用協議会の事業（1. 産肉情報基盤の強化活用、2. 新たな改良形質の検討・評価、3. 肉用牛の出荷時期早期化対策）に基づき、熊本系褐毛和種に関する事業を分担する。

(イ) 事業の内容

熊本系褐毛和種血統情報の収集に相当する業務、それに付帯する業務を行う。

イ 家畜能力等向上強化推進のうち地域固有系統の再構築等支援対策

(一般社団法人日本あか牛登録協会事業)

(ア) 事業の目的

あか牛の改良用雌牛群、新規繁殖登録牛及び種雄牛候補となる雄子牛等のDNA試料の採取とSNP情報の解析を行い、得られたデータを基にあか牛集団の遺伝的構造分析を実施し、当該構造分析結果に基づく集団内の系統分類手法の確立に取り組む。

(イ) 事業の内容

熊本系褐毛和種のSNP情報を解析し、集団の遺伝的多様性の維持及び近交係数上昇抑制の手法の検討を行う。

(2) 持続的な褐毛和種の生産・改良システム開発事業

(国立大学法人宮崎大学受託事業)

ア 事業の目的

褐毛和種について、ゲノム情報を用いた正確度の高いゲノミック評価と系統分類を実施することで、効率的な育種改良と遺伝的多様性の確保を図るとともに、新たな改良形質の評価を行い、改良の方向性と遺伝的多様性を模索する。

イ 事業の内容

熊本系褐毛和種の繁殖雌牛及び肥育牛のSNP情報収集、改良形質情報の収集システム構築事業、成果の普及を行う。

V 会員や関係団体と連携した畜産振興の推進（その他事業2）

各種協議会の事務局並びにイベントへの職員派遣や、行政と団体間との調整役を果たすこと等により、県畜産の生産振興や県産畜産物のPRと消費拡大に寄与する。

1 熊本県産牛肉消費拡大推進協議会事業

（熊本県産牛肉消費拡大推進協議会受託事業）

熊本県産牛肉消費拡大推進協議会の事務局事務を行う。

※熊本県産牛肉消費拡大推進協議会

目的：県内畜産関係団体の相互協調により、熊本県産牛肉の流通・消費拡大を図り、熊本県畜産の安定的発展に寄与することを目的とする。

会員：熊本県、熊本県経済農業協同組合連合会、熊本県畜産農業協同組合、熊本県酪農業協同組合連合会、熊本県食肉事業協同組合連合会、肥後開拓農業協同組合、(株)熊本畜産流通センター、(公社)熊本県畜産協会、熊本県農業協同組合中央会（賛助会員）

2 熊本県養豚協会事業（熊本県養豚協会受託事業）

熊本県養豚協会の事務局事務を行う。

※熊本県養豚協会

目的：本県における養豚事業の堅実な発展を促進し、養豚振興を図ることを目的とする。

会員：県内養豚農家 60 会員

賛助会員：養豚関係団体等 55 会員

事業：養豚経営の調査研究及び講習会等、養豚の情報収集及び提供
関係機関・団体との連絡協調

3 熊本県養鶏協会事業（熊本県養鶏協会受託事業）

熊本県養鶏協会の事務局事務を行う。

※熊本県養鶏協会

目的：本県における養鶏事業の堅実な発展を促進し、養鶏振興を図ることを目的とする。

会員：県内養鶏農家 32 会員

事業：日本養鶏協会事業の推進、養鶏農家の技術向上及び疾病の発生防止に係る研修会の実施、鶏卵の普及・啓発活動の実施等

4 馬事畜産振興推進事業(馬事畜産振興協議会受託事業)

馬事畜産振興協議会からの委託により、関係団体等と連携し、地方競馬の支援、畜産や県産畜産物の普及・啓発を推進する。

(1) 佐賀競馬場において、冠レースを実施し賞状・副賞を授与する。

(2) BA00 荒尾において、畜産フェアを開催し、入場者の増加と畜産振興に資する。

- (3) 家畜に係わる伝統行事等の円滑な開催推進と保全を図る。
- (4) 競馬見学会、現地研修を開催する。

5 地域畜産フェア拡大推進事業（馬事畜産振興協議会補助事業）

目的：県内の生産者と消費者の交流の場として地域畜産フェア等のイベントに参加し、県内消費者に対して地域の畜産物の理解を深めるとともに、地方競馬の畜産振興等への貢献について周知を図ることを目的とする。

事業：くまもと農業フェアにて、県内の畜産物（卵・加工食品）と競馬・畜産の普及啓発グッズとアンケートを配布し、抽選で県産の畜産物を贈呈し、県産畜産物の普及啓発を図る。

6 熊本県野生いのしし豚熱経口ワクチン対策協議会事業（中央畜産会補助事業）

熊本県野生いのしし豚熱経口ワクチン対策協議会の事務局事務を行う。

※野生いのしし豚熱経口ワクチン対策協議会

目的：野生いのししにおける豚熱ウイルス拡散防止を図り、豚熱の発生予防及びまん延防止を徹底する。

会員：熊本県、市町村、林野庁九州森林管理局、（一社）熊本県猟友会
熊本県養豚協会、熊本県経済農業協同組合連合会
（公社）熊本県畜産協会

事業：会員と連携し、野生いのししへの豚熱経口ワクチン散布を行う。
豚熱経口ワクチンの保管・管理を行う。

令和8年度予算

収 支 予 算 書

令和 08年04月01日から 令和 09年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1.経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用益(計)	575,000	405,000	170,000
特定資産受取利息	5,000	5,000	
預かり寄託金運用利息	570,000	400,000	170,000
受取会費(計)	10,660,000	10,660,000	
正会員受取会費	10,660,000	10,660,000	
受取負担金(計)	3,000,000	3,000,000	
受取財政基盤強化負担金	3,000,000	3,000,000	
事業収益(計)	215,371,701	225,203,960	△ 9,832,259
受取生産者補給金事務負担金	11,220,300	12,120,300	△ 900,000
受取予防接種負担金	187,179,281	201,811,540	△ 14,632,259
受取種豚事業収益	1,275,120	1,275,120	
受取改良事業収益・証明料	440,000	440,000	
受取肉用牛肥育経営安定事務負担	3,000,000	7,500,000	△ 4,500,000
受取農用馬事業収益	57,000	57,000	
受取事務負担金	12,200,000	2,000,000	10,200,000
受取補助金(計)	2,604,799,353	2,675,607,347	△ 70,807,994
国受取補助金(計)	38,840,000	40,812,000	△ 1,972,000
受取家畜生産農場衛生対策事業	27,560,000	28,909,000	△ 1,349,000
受取牛疾病検査円滑化推進対策事業		703,000	△ 703,000
受取獣医師養成修学資金貸与(国)	11,280,000	11,200,000	80,000
機構受取補助金(計)	2,493,088,474	2,564,888,181	△ 71,799,707
受取機構生産者補給交付金	1,347,100,000	1,397,100,000	△ 50,000,000
受取補給金運営適正事業補助金	25,584,758	25,584,758	
受取運営体制支援事業補助金	17,010,521	17,013,588	△ 3,067
受取肉用牛経営安定対策補完事業	25,375,771	25,385,116	△ 9,345
受取機構肥育牛交付制度交付金	321,345,000	364,524,576	△ 43,179,576
受取肉用牛経営災害緊急支援対策	100,000	152,882	△ 52,882
受取優良和子牛生産推進緊急支援	305,398,793	461,417,136	△ 156,018,343
受取繰越優良和子牛生産緊急支援	153,233,836	46,650,468	106,583,368
受取和子牛産地基盤強化緊急対策	222,849,452	227,059,657	△ 4,210,205
受取繰越和子牛産地基盤強化緊急	75,090,343		75,090,343
熊本県補助事業(計)	32,331,302	27,935,200	4,396,102
受取自衛防疫推進費	544,000	544,000	
受取特定疾病損耗防止推進事業	3,600,000	3,600,000	
受取獣医師養成就学資金貸与(県)	24,991,200	20,591,200	4,400,000
受取熊本型放牧支援事業補助金	3,196,102	3,200,000	△ 3,898
中央畜産会(計)	12,062,005	13,482,966	△ 1,420,961
受取畜産特別資金推進指導事業	4,710,903	4,656,866	54,037
受取育成馬予防接種推進事業費	342,050	340,980	1,070
受取馬飼養衛生管理特別対策事業	934,000	804,000	130,000
受取馬伝染性疾病防疫対策事業	1,449,200	3,056,120	△ 1,606,920
受取家畜防疫・衛生指導対策事業	1,663,000	1,668,230	△ 5,230
受取地域農場HACCP認証支援事業	2,962,852	2,956,770	6,082
地方競馬全国協会(計)	26,357,572	26,369,000	△ 11,428
受取畜産経営技術指導事業	26,357,572	26,369,000	△ 11,428
日本馬事協会(計)	120,000	120,000	
受取日本馬事協会	120,000	120,000	
受託事業収益(計)	110,887,793	104,328,735	6,559,058
機構受託事業(計)	16,465,928	16,472,269	△ 6,341
受取肉用牛肥育経営安交付金制度	16,465,928	16,472,269	△ 6,341
全国肉用牛振興基金協会受託事業(計)	4,691,375	4,695,142	△ 3,767
受取優良雌牛更新加速化事業委託	4,691,375	4,695,142	△ 3,767
熊本県受託事業(計)	5,620,684	5,490,000	130,684
受取畜産経営技術高度化推進事業	5,620,684	5,490,000	130,684
中央畜産会(計)	22,685,518	21,486,712	1,198,806
受取課題解決サポート事業	80,000	80,000	
受取楽酪GO事業	420,000	420,000	
受取地域畜産支援強化事業	2,500,000	2,500,000	
受取畜産クラスター実態調査事業	880,000	880,000	
受取畜産クラスター機械導入事業	9,720,533	8,579,712	1,140,821
受取生産技術情報提供事業	2,194,785	2,082,000	112,785
受取畜産ICT事業	1,322,000	1,322,000	
受取家畜防疫互助推進事業	5,568,200	5,623,000	△ 54,800

収 支 予 算 書

令和 08年04月01日から 令和 09年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
日本草地畜産種子協会受託事業（計）	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000
受取飼料作物地域モデル実証事業	2,000,000	4,000,000	△ 2,000,000
日本あか牛登録協会（計）	4,778,457	4,599,364	179,093
受取日本あか牛登録事務委託費	4,778,457	4,599,364	179,093
日本あか牛登録協会熊本県支部（計）	13,788,169	9,769,348	4,018,821
受取日本あか牛登録県支部委託費	13,788,169	9,769,348	4,018,821
全国和牛登録協会熊本県支部（計）	37,473,662	34,431,900	3,041,762
受取全国和牛登録県支部委託費	37,473,662	34,431,900	3,041,762
馬事畜産振興協議会（計）	2,535,000	2,535,000	
受取馬事畜産振興推進事業	535,000	535,000	
受取地域畜産フェア拡大推進事業	2,000,000	2,000,000	
畜産近代化リース協会（計）	1,849,000	1,849,000	
受取貸付事業指導等事業	1,849,000	1,849,000	
（一社）日本畜産物輸出促進協会（計）	1,000,000	1,000,000	
受取輸出対応生産円滑化事業	1,000,000	1,000,000	
その他事業収入（計）	2,569,662	3,266,063	△ 696,401
受取県産牛肉消費拡大推進協議会	722,000	722,000	
受取熊本県養豚協会事務費	1,447,662	1,458,063	△ 10,401
受取熊本県枝肉共進会実行委員会		686,000	△ 686,000
受取熊本県養鶏協会事務費	400,000	400,000	
受取積立金（計）	107,115,000	121,508,192	△ 14,393,192
受取積立金振替額	107,115,000	121,508,192	△ 14,393,192
雑 収 益（計）	2,330,000	2,044,800	285,200
受 取 利 息	900,000	1,000,000	△ 100,000
雑 収 益	1,430,000	1,044,800	385,200
経 常 収 益 計	3,057,308,509	3,146,024,097	△ 88,715,588
(2)経 常 費 用			
事 業 費（計）	3,048,098,288	3,131,363,858	△ 83,265,570
支 払 補 て ん 金	1,775,560,000	1,883,132,768	△ 107,572,768
支 払 助 成 金	838,279,026	814,306,245	23,972,781
役 員 報 酬	5,594,907	5,447,427	147,480
給 料 手 当	153,874,628	140,961,717	12,912,911
臨 時 雇 賃 金	2,303,589	2,036,648	266,941
退 職 給 付 費 用	5,504,602	8,020,870	△ 2,516,268
福 利 厚 生 費	26,588,667	23,809,789	2,778,878
会 議 費	352,000	447,000	△ 95,000
旅 費 交 通 費	8,005,403	7,906,955	98,448
通 信 運 搬 費	2,703,134	2,772,638	△ 69,504
減 価 償 却 費	2,529,019	2,597,725	△ 68,706
消 耗 品 費	123,369,006	131,640,772	△ 8,271,766
印 刷 製 本 費	2,100,893	2,017,302	83,591
図 書 資 料 費	264,200	204,200	60,000
燃 料 費	200,000	200,000	
車 輜 費	140,000	140,000	
光 熱 水 料 費	180,000	316,000	△ 136,000
賃 借 料	7,465,934	7,517,374	△ 51,440
諸 謝 金	672,300	672,300	
租 税 公 課	14,229,443	14,365,002	△ 135,559
支 払 負 担 金	1,568,000	1,748,000	△ 180,000
役 務 費	1,221,990	1,284,144	△ 62,154
厚 生 費	664,450	664,450	
報 償 費	305,000	305,000	
送 金 手 数 料	493,354	485,754	7,600
広 報 費	1,825,168	1,825,168	
雑 費	593,257	634,557	△ 41,300
検 査 費	1,031,000	1,037,170	△ 6,170
技 術 料	64,972,850	69,346,550	△ 4,373,700
委 託 費	5,506,468	5,520,333	△ 13,865
管 理 費（計）	6,068,532	5,785,223	283,309
人 件 費（計）	1,991,537	1,841,782	149,755
役 員 報 酬	118,536	114,932	3,604
給 料 手 当	1,093,060	835,372	257,688
賞与引当金繰入額	430,000	430,000	
退 職 給 付 費 用	146,310	302,952	△ 156,642
福 利 厚 生 費	203,631	158,526	45,105

収 支 予 算 書

令和 08年04月01日から 令和 09年03月31日まで

公益社団法人 熊本県畜産協会
全会計

(単位：円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
会 議 費(計)	21,000	50,000	△ 29,000
会 議 費	21,000	50,000	△ 29,000
事 務 費(計)	1,098,995	936,441	162,554
旅 費 交 通 費	500,000	450,000	50,000
通 信 運 搬 費	280,000	280,000	
什器備品減価却費	148,995	36,441	112,554
消 耗 品 費	170,000	170,000	
そ の 他 経 費(計)	2,957,000	2,957,000	
印 刷 製 本 費	210,000	100,000	110,000
図 書 資 料 費	65,000	65,000	
光 熱 水 料 費	190,000	290,000	△ 100,000
賃 借 料	1,395,000	1,395,000	
諸 謝 金	330,000	330,000	
租 税 公 課	48,000	48,000	
支 払 負 担 金	200,000	200,000	
役 務 費	164,000	164,000	
厚 生 費	130,000	130,000	
交 際 渉 外 費	20,000	20,000	
送 金 手 数 料	35,000	45,000	△ 10,000
雑 費	170,000	170,000	
経 常 費 用 計	3,054,166,820	3,137,149,081	△ 82,982,261
評価損益等調整前当期経常増減額	3,141,689	8,875,016	△ 5,733,327
当 期 経 常 増 減 額	3,141,689	8,875,016	△ 5,733,327
2.経 常 外 増 減 の 部			
(1)経 常 外 収 益			
受取積立金振替額(計)	6,500,000	1,189,373,355	△ 1,182,873,355
受取積立金振替額	6,500,000	1,189,373,355	△ 1,182,873,355
経 常 外 収 益 計	6,500,000	1,189,373,355	△ 1,182,873,355
(2)経 常 外 費 用			
その他の経費(計)	98,000	89,000	9,000
租 税 公 課	98,000	89,000	9,000
支 払 返 戻 金(計)	6,500,000	1,189,373,355	△ 1,182,873,355
支払機構積立準備金返還金		249,652,232	△ 249,652,232
支払県積立準備金返還金		124,889,717	△ 124,889,717
支払積立準備金返還金	6,500,000	60,000,000	△ 53,500,000
支払生産者肥育牛交付制度返戻金		754,831,406	△ 754,831,406
経 常 外 費 用 計	6,598,000	1,189,462,355	△ 1,182,864,355
当 期 経 常 外 増 減 額	△ 98,000	△ 89,000	△ 9,000
他会計振替前当期一般正味財産増減額	3,043,689	8,786,016	△ 5,742,327
他会計振替額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	3,043,689	8,786,016	△ 5,742,327
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	171,531,552	171,531,552	0
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	174,575,241	180,317,568	△ 5,742,327
Ⅱ 指 定 正 味 財 産 増 減 の 部			
受 取 補 助 金(計)	64,830,000	74,564,100	△ 9,734,100
受取機構生産者積立金補助金	43,220,000	49,709,400	△ 6,489,400
受取県生産者積立金補助金	21,610,000	24,854,700	△ 3,244,700
受 取 積 立 金(計)	389,744,000	426,886,037	△ 37,142,037
受取生産者積立金	4,544,000	12,216,037	△ 7,672,037
受取肥育牛交付制度生産者負担金	385,200,000	414,670,000	△ 29,470,000
特定資産運用益(計)	915,820	1,349,400	△ 433,580
特定資産受取利息	665,820	1,199,000	△ 533,180
生産者受取利息	250,000	150,400	99,600
一般正味財産への振替額(計)	△ 113,615,000	△ 1,310,881,547	1,197,266,547
一般正味財産への振替額	△ 113,615,000	△ 1,310,881,547	1,197,266,547
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	341,874,820	△ 808,082,010	1,149,956,830
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	2,631,964,800	2,631,964,800	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	2,973,839,620	1,823,882,790	1,149,956,830
Ⅲ 正 味 財 産 期 末 残 高	3,148,414,861	2,004,200,358	1,144,214,503